



唐沢堤の桜 石橋 泉三 (大13・千葉県船橋市)



No.131
 (令和8年4月)
 大分市金池町 2-7-21
 パークサイド大分駅まえ 302号
 一般財団法人
四極会
 TEL 097 (538) 2462
 FAX 097 (529) 6623

ま、荷揚小学校、碩田中学校、上野丘高校を経て大分大学に進学した、生粋の大分っ子であります。バスケットボール部で汗を流し、和田ゼミで学んだ大学の日々は私の原点です。恩師のご紹介で入社した川崎化成工業(当時)は四極会の先輩が創立した会社であり、昨年無事に勤め上げることができました。東京四極会に本格的に参加し

を与えてくれました。また、先輩方をはじめとした同窓との交流は、私の人生に温かな彩りを添えてくれました。さらに、長く連れ添っております家内も大分大学教育学部の卒業生であり、私の人生の節目には常に母校のご縁が寄り添ってききました。そのご恩に少しでも報いるために、東京四極会の発展に力を尽くすことが私の務めである

と強く感じております。現在、東京四極会は大きな転換点にあります。会員の高齢化や若手会員の参加減少、活動の固定化、支部間交流の弱さ、情報発信の不足など、向き合うべき課題は少なくありません。しかし、これらは必ずしも悲観すべき問題ではなく、むしろ四極会を次の世代へつなぐための「伸びしろ」であると捉えています。

私は理事長として、「参加しやすい四極会」の実現を目指します。若手会員が気軽に参加できる雰囲気づくりや、オンラインを活用した情報発信の強化、支部間の連携促進など、時代に合わせた工夫を進めてまいります。同時に、先輩方が築いてこられた温かな伝統や、互いを尊重し支え合う風土を、しっかりと後輩たちへ引き継いでまいります。たいと考えております。

母校への感謝を胸に、これまで四極会を支えてこられた皆さまへの敬意を忘れず、四極会の未来を皆さまとともに築いていければと願っております。今後とも変わらぬご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(大学33回)

若手会員も 参加しやすい四極会に

東京四極会理事長
小林 伸彦

このたび、令和7年度より東京四極会の理事長、ならびに四極会副会長を拝命いたしました小林でございます。1961年に大分市城崎町に生

始めたのは20年前、40代半ばの頃で、先輩からのお声掛けがきっかけでした。会社や世代を超えた同窓とのつながりは、同じ母校を持つからこそ率直に語り合える場であり、そこで得た

と強く感じております。現在、東京四極会は大きな転換点にあります。会員の高齢化や若手会員の参加減少、活動の固定化、支部間交流の弱さ、情報発信の不足など、向き合うべき課題は少なくありません。しかし、これらは必ずしも悲観すべき問題ではなく、むしろ四極会を次の世代へつなぐための「伸びしろ」であると捉えています。

私は理事長として、「参加しやすい四極会」の実現を目指します。若手会員が気軽に参加できる雰囲気づくりや、オンラインを活用した情報発信の強化、支部間の連携促進など、時代に合わせた工夫を進めてまいります。同時に、先輩方が築いてこられた温かな伝統や、互いを尊重し支え合う風土を、しっかりと後輩たちへ引き継いでまいります。たいと考えております。

母校への感謝を胸に、これまで四極会を支えてこられた皆さまへの敬意を忘れず、四極会の未来を皆さまとともに築いていければと願っております。今後とも変わらぬご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(大学33回)

四極会ホームページ



全国の支部の皆さんに感謝

「四極会100周年」祝賀会を終了

早いものでもうすぐ5月です。四極会会員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新たな年度を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

令和7年は、「四極会発足100周年」の年度の期間に当たり、年初から本部及び各支部では記念祝賀会開催に向けて動き出し、まさに、年間を通して「四極会発足100周年」事業に終始した一年でした。4月の関西四極会を皮切りに、令和7年12月までに、県外16支部、県内（職域支部含む）16支部の計32支部が、年次総会を兼



三浦 洋一 会長
(大学24回)

ねて記念祝賀会を開催しました。

とりわけ、7月5日、大分市（レンブラントホテル大分）での全国評議員会・支部長会議に併せて開催された記念祝賀会は、大分支部と別府支部、大分市内の職域支部や職域企業、現役学生などの会員が中心に準備を進め、当日は、佐藤樹一郎大分県知事、北野正剛大分大学長、高見博之経済学部長のご来賓を迎え、400名を超える会員が参集し、盛大に開催されました。この祝賀会の様子は、地元紙の大分合同新聞に、4面に亘る広報と開催記事として大きく取り上げられ、特に県内地域の方々には、改

めて「四極会」の存在と100年の歴史・伝統を印象付ける良い機会となりました。

「四極会発足100周年」事業における根底の趣旨は、単なる周年イベントの開催ではなく、「四極会」の次の100年を見据え、会員相互の結束強化と支部の活性化、それにより、「四極会」組織の維持・継続を目指すこととしています。そうした観点から、全国39支部の支部長・事務局の皆さんには、趣旨の浸透に向けて格段のご努力を頂いたことに、改めて感謝を申し上げます。

また、そうした動きの中で、東京四極会や関西四極会、松山支部と宮崎支部、中津・豊前支部をはじめ、多くの支部で参加人員の増加が生まれました。また、岡山支部や佐世保支部、玖珠支部の支部活動の再開が実現し、更に、長らく休止していた鳥取・島根支部は山陰支部として、豊肥支部は竹田支部として新たにスタートしました。支部のリーダー役となる大分支部では、これからの支部を考える「未来戦略会議」が新設されるなど、これまでと一味違う新たな活動が出来たことは大変喜ばしいことだと感じています。

さて、「四極会発足100周年」事業は、令和7年度末の令和8年3月まで続き、34の支部が支部総会兼四極会発足100周年祝賀会を開催しました。これらの支部長や支部役員の皆さまには、心より感謝申し上げますとともに、引き続き令和8年度も四極会に対する最大限のバックアップをお願い申し上げます。

目次

巻頭言 東京四極会理事長 小林伸彦	1
四極会100周年祝賀会を終了	2
四極会会長 三浦洋一	2
支部だより	3
忘年会・新年会	13
活発な桃優会・関西桃優会	15
三大学合同懇親会	16
経済学部教授と意見交換会	17
三浦会長ら大分合同新聞社を訪問	17
五十嵐先生瑞宝中綬章受章を祝う	18
今度こそ最後の三九会	18
14回生・26回生が同期会	19
盛んなゴルフ大会	20
OB会だより	22
大分支部ボウリング大会	24
サマーキャンプ	24
四極文芸	25
さぶちゃんのあんな人こんな人	26
学園ひろば	28
四極会と思学会が交流	30
ホームカミングデー	30
卒業式	31
入学式	32
三経会で交流深める	33
大分支部の職域交流会	34
四極山のぼろ会	34
表紙のことは・山水会・且桜会・昭平会	35

支部だより

サックスやハーモニカ演奏

熊本四極会

令和7年10月18日(土) 18時より鶴屋百貨店カーネーションサロンにて、令和7年度熊本四極会総会兼四極会100周年祝賀会を開催致しました。当日は、



さすが熊本。皆さん、キリッとしています
(鶴屋百貨店カーネーションサロンで)

四極会本部から三浦洋一会長(大24)、大学から高見博之経済学部長をお迎えし、総員31名の参加による開催となりました。総会は、黒瀬英夫会長(大29)の開会挨拶に続き、三浦洋一会長から令和7年度四極会事業計画、他支部の活動状況、卒業生の就職先の各四極会支部への連携等、現在の活動状況の詳細な説明があり、続けて高見経済学部長より、大分大学の現状並びに最近の就職状況等のお話を伺いました。

引き続き令和6年度の事業報告、収支報告の各議案が満場一致で可決され、米川健一監事(大43)からの監査報告が行われました。また、役員改選も行われ、黒瀬英夫会長より松尾芳昭新会長(大26)にバトンタッチが行われ、新たに植田耕清氏(大38)が副会長に就任しました。植田耕清新副会長のご挨拶の後、全員での写真撮影により総会を終了しました。

続いて、梶雄也理事(大57)の司会による懇親会に移り、石川千鶴副会長(大37)の開会挨拶、平野道昭相談役(大24)による乾杯の発声でスタートとなりました。歓談中には、大分大学100周年の記念動画を紹介し、キャンパス風景を懐かしみながら酒杯が進み、各テーブルでは旧交を深めることが出来ました。また、最高齢である江藤正啓先輩(大5)のハーモニカ演奏や村山典隆相談役(大25)のサックス演奏が披露され、温かみのある音色が会の雰囲気を一層引き立てました。最後の校歌斉唱では、急遽、江藤正啓先輩のハーモニカと村山相談役のサックスのセッションによる校歌斉唱へと変更し、最後は、和やかな雰囲気包まれ、村上相談役の閉会挨拶にて散会となりました。

(猿渡誠士 大52・記)

女性の参加に頑張るぞ!

白杵支部

四極会発足100周年記念白杵支部総会が、10月23日(木)午後6時半より市内割烹「福わ内」で開催されました。四極会本部より三浦洋一会長と大分大学より高見博之学部長をお招きし総勢19名で開催いたしました。

支部の現状や進路状況についてのお話を伺いました。

今回は、大分合同新聞に写真が掲載されることから、顔色や服装が変わる前に記念写真の撮影を行いましたので、さわやかな写真が撮れました。

その後、懇親会に移り冷たく冷やした清酒「四極」で芋岡先輩(大15)の発声で乾杯を行い、一気に盛り上がり、お互いの近況や昔話に花が咲きました。三浦会長も若かりし頃、白杵市に勤務されたことがあり参加した会員一人ひとりと話ができ、楽しい時間を過ごされたようです。



白杵支部らしいさわやかな集合写真です

その後、全員で校歌、寮歌、逍遙歌を合唱し、最後は、北山先輩(大20)の一丁締めで締めていただきました。今回も大変盛り上がった支部総会となりました。しかしながら、今



Kirakuの女将さんがつくる美味しい料理も楽しみました

本部から三浦洋一
会長、大学から高見
博之学部長のお二方
に来賓としてご臨席
いただき、会員8名
の出席と合わせて2
桁の大会に乗る10名
での挙行となりました。
総会では役員改選
が行われ、玖珠支部
を長きにわたりご指
導していただいた森
昌哉支部長(大19)
が勇退され、岩尾茂

令和4年12月の総会以来の懇
親の場となったこともあり、話
題は尽きずにあつという間に予
定の時間が経過し、梅木一郎副
支部長(大26)の締めでお開き
となりました。恒例の「清酒四
極」(八鹿酒造謹製)のお土産
も好評でした。
懇談のなかで、支部活動の活
性化の方策などについての意見
も交換されました。支部の総会
に参加することで、年代や性別
を超え、同窓の絆で繋がる皆さ
んと共に母校に思いを馳せるこ
とができる。大学の最新の情報

今年度は、四極会の三浦会長お
よび高見経済学部長を来賓とし
てお迎えし、宮崎支部会員48名
を含む総勢50名が参加しまし
た。四極会100周年という節
目にあたり、より多くの方にご
参加いただけるよう、事前にア
ンケートを実施。その結果を踏
まえ、若い世代も参加しやすい
雰囲気づくりを目指して、今回
からカジュアルな服装での参加
にしました。これまでの堅苦し
いイメージからの脱却を図る新

たな試みです。
また、役員改選が行われ、梅
崎支部長(大27)から高橋支部
長(大36)へ、壹岐理事(大
30)から丸目理事(大38)へと
交代しました。100周年の節
目を迎え、心機一転、新しい体
制で宮崎支部として新たな活動
を進めていくことになりました。
総会終了後の祝賀会では、三
浦会長のご挨拶に続き、高見経
済学部長の乾杯の音頭で華やか
にスタート。三浦会長からは、
大分合同新聞に掲載された四極
会100周年の全面広告を使っ
たご説明とともに、四極会の
100年の歩みについてお話が
ありました。

玖珠支部

令和7年10月24日(金)、
玖珠町のリラクゼーション

cafe & 居酒屋 kiraku
において玖珠支部総会並びに四
極会発足100周年記念祝賀会
を開催しました。

森さん、長い間ご苦労さま

回、女性会員にもできる限り声
掛けを行いましたが出席された
のは日高尚香さん(大42)だけ
で残念でした。今後も女性会員
の掘り起こしに努力します。
▼出席者(敬称略)
芋岡勝一(大15)、北山信夫
(大20)、高橋秀武、川野勇清(大
21)、佐藤俊美(大23)、児玉豊

武、日廻文明、高橋浩二(大27)、
武口秀樹(大28)、稲垣万三郎
(大32)、寺本政浩(大38)、佐
藤英治(大40)、日高尚香(大
42)、板井清一、小嶋佳希(大
43)、望月亮一(大46)、上田直
樹(大47)
(武口秀樹 大28・記)

樹新支部長(大25)が選任され
ました。
三浦会長には記念講話という
位置づけで四極会の取り組みや
現状報告をしていただきまし
た。
総会後はお待ちかねの記念祝
賀会の部の開宴です。岩尾新支
部長の祝賀ごあいさつではしま
り、物故者の方々に哀悼の意を
込めて全員で黙祷を捧げたの
ち、高見学部長のご発声のもと
に乾杯しました。高見学部長か
らは経済学部が総合経済学科と
して1学科6コースに再編され
たことのご報告もしていただき
ました。

や現役学生さんたちの活躍の様
子に触れ、刺激をもらうことが
できるーなど、良いことづくめ
だと感じています。
玖珠支部としては気軽に参加
できるので、支部会員の皆さまの参
加をお待ちしています。

▼出席者(敬称略)
【来賓】三浦洋一(会長 大24)、
高見博之学部長
【会員】森昌哉(大19)、岩尾
茂樹、佐藤頼久(大25)、梅木
一郎(大26)、熊谷光顕(大34)、
横山芳嗣(大34)、竹尾孝一(大
36)、後藤智教(大50)
(後藤智教 大50・記)

宮崎支部

令和7年10月25日(土)、
ニューウエルシティ宮崎にて四
極会宮崎支部総会を開催しまし
た。

心機一転 新体制スタート

たな試みです。

また、役員改選が行われ、梅
崎支部長(大27)から高橋支部
長(大36)へ、壹岐理事(大
30)から丸目理事(大38)へと
交代しました。100周年の節
目を迎え、心機一転、新しい体
制で宮崎支部として新たな活動
を進めていくことになりました。

今年度は、四極会の三浦会長お
よび高見経済学部長を来賓とし
てお迎えし、宮崎支部会員48名
を含む総勢50名が参加しまし
た。四極会100周年という節
目にあたり、より多くの方にご
参加いただけるよう、事前にア
ンケートを実施。その結果を踏
まえ、若い世代も参加しやすい
雰囲気づくりを目指して、今回
からカジュアルな服装での参加
にしました。これまでの堅苦し
いイメージからの脱却を図る新

総会終了後の祝賀会では、三
浦会長のご挨拶に続き、高見経
済学部長の乾杯の音頭で華やか
にスタート。三浦会長からは、
大分合同新聞に掲載された四極
会100周年の全面広告を使っ
たご説明とともに、四極会の
100年の歩みについてお話が
ありました。



カジュアルな服装で総勢50名が参加 (ニューウェルシティ宮崎で)

祝賀会では、事務局より差し入れていただいた清酒「四極」に舌鼓を打ちながら、1年ぶりの再会を喜び合い、仲間との思い出話に花が咲きました。
また、100周年を記念して抽選会を実施。新役員や来賓の方々に番号札を引いていたいただき、当選者が景品を受け取るというシンプルな形式ながら、大変な盛り上がりを見せました。

恒例の校歌・寮歌の斉唱では、毎回音頭を快く引き受けてくださる金谷先輩が、総会直前に怪我をされ欠席となりましたが、スマートフォンを通じてオンラインで参加いただき、会場の全員で心を合わせて合唱しました。
締め言葉では、河野僚太氏(大61)より「この会を10年、100年と続けていけるように」との力強い発言があり、役員一同、身の引き締まる思いで新たな決意を固めました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、2時間の祝賀会は盛況のうちに終了しました。

ご参加いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。来年に向けて新しい体制のもと、より一層の活動を進めていきたいと思えます。

(岩下博明
大41・記)

地元フグ料理に舌鼓!!

下関支部



学生時代の思い出や近況に話が弾みました

が行われ、全員一致で承認されました。また、総会への新規参加者勧誘に腐心していることや、女性参加者が参加しやすいように総会開催時間を夕刻より昼間に変更する等の問題提起もあり、1時間の総会が終了しました。
続いての懇親会では、杉山さん(大11)の乾杯の発声で幕を開け、地元下関ならではのトラフグコースを名酒「五橋」で堪能しながら、学生時代の思い出や近況についての話が弾んでいました。

閉会は首藤さん(大21)の発声により行われ、楽しく懇談した2時間半を終えました。

▼出席者(敬称略)

【来賓】 四極会 木本英光四極会監事(大25 院1)、

大分大学 松隈久昭経済学部学長特命補佐兼教授

【会員】 支部長 久保憲一郎(大23)、杉山輝雄(大11)、植田禎則(大15)、首藤卓美(大21)、丹田啓一(大23)、佐々木博信(大26)、五十嵐修二(大29)、宮田浩徳(大32)、北川滉志(大68)

(宮田浩徳 大32・記)

令和7年11月8日(土) 17時より、下関市南部町にある「ふく処喜多川」を会場として、令和7年度下関支部総会と懇親会が開催されました。

本年度は来賓として、四極会100周年実行委員長の大役を務められた木本英光四極会監事(大25 院1)、母校より松隈久昭経済学部学長特命補佐兼教授をお迎えし、支部員9名とともに和やかな時間を過ごしました。

また、開催にあたり今年亡くなられた長田禮二さん(大3)に黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

支部総会での木本監事のご挨拶では「大分合同新聞の四極会発足100周年特別版」資料を用いて100周年事業にまつわるお話を聞かせていただきました。

さらに松隈教授のご挨拶では、昨年4月に行われた経済学部組織再編で1学科6コースとなったことにより新入生が自身の学びたい分野へ進むことができるようになり、また就職率も99.3%の好成績であったとのご報告がありました。

続いて、久保支部長(大23)より下関支部の現状報告、さらに支部規約変更についての議決

女性の井上さん初参加

松山支部

2025年11月8日(土) 松山市の「日本料理すし丸」において、松山支部総会兼四極会100周年記念祝賀会を開催しました。

四極会本部の三浦会長、大分大学経済学部の仲本大輔学長特命補佐兼准教授をお迎えし、松山支部会員9名を合わせた11名での開催となりました。前回の初参加1名に引き続き、今回も女性の井上和美さん(大41)が初参加してくれました。

三浦会長より四極会の現状や



愛媛みかんと清酒四極を両手にパチリ

7月に行われた100周年記念祝賀会などについて、仲本准教授からは大分大学の現状等についてご報告をいただきました。その後、松山支部長および会計から支部の現況と今後の運営についての報告を行い、比嘉清松先輩(大8)による乾杯で懇親会が始まりました。

懇親会では、学生時代の懐かしい思い出話に花が咲き、参加者全員によるユーモア溢れる近況報告で盛り上がりしました。宴もたけなわのところ、全員で校歌・寮歌・逍遙歌を斉唱し、最後に二宮章治前支部長に締めていただきました。その後、愛媛みかんと清酒(四極)を両手に満面の笑みで記念撮影を行いました。2時間余りの短い時間でしたが、OB間の繋がりを感じた楽しい一時を過ごすことができました。

今回の支部参加者は9名でしたが、おそらく近年で一番多いのではないかと思われます。まだまだ支部総会に参加いただくのは少数であり、資金繰り的にも厳しい状況が続いています。

全員が地道な声掛けを継続して一人でも多くの支部総会参加者を増やしつつ、四極会本部からの情報も頼りに、若い世代との交流も深めていきたいと思えます。

▼出席者(敬称略)

【来賓】三浦洋一会長(大24)、

再スタートです。よろしく!

竹田支部

四極会竹田支部設立総会を令和7年11月14日(金) 竹田市内の「ひょうたん」で開催しました。竹田支部は、約10年前から



新役員も決まって、ガッツポーズの会員

仲本大輔学長特命補佐兼准教授【会員】比嘉清松(大8)、二宮章治(大25)、幸地慎一(大25)、阿部仁志(大40)、井上和美(大41)、安並修(大41)、山本育矢(大42)、西岡秀和(大46)、福嶋利昭(大57) (安並修 大41・記)

休眠状態であった豊肥支部の活動再開が容易ではないことから、改めて竹田支部として体制を再構築し、同窓会活動を始動することとしたところです。

当日は、25名の会員のうち13名の参加により設立総会を開き、発起人の宮成公一郎県議会議員の設立趣旨の説明のあとと第1号議案として会則、第2号議案として役員を承認いただきました。

結果、支部長に宮成公一郎県議會議員、副会長に大神正己、事務局長に佐藤俊郎、事務局次長に測憲治、監事に氏田哲生の5名を承認いただきました。

会員は、

(2) 大分大学同窓生のうち竹田市内に勤務する者

(3) その他、竹田市にゆかりのある大分大学同窓生

としており、本支部の活動を通じて、母校や地域への貢献を果たしていくために、会員相互に意見を交わし、幅広い会員で懇親を深めていきたいと考えているところです。

総会の来賓あいさつで、三浦洋一四極会会長からごあいさつをいただき、続いて高見博之経済学部長からは令和6年4月からの総合経済学科1学科6コースの説明などを丁寧にご案内いただきました。

総会の後、記念撮影を行い、土居昌弘竹田市長の乾杯で懇親会が開会。懇親を深めました。卒業年が昭和52年から令和7年までと幅広く、それぞれ自己紹介の中で当時のゼミの話や寮生活の話などで盛り上がりしました。

最後は、大島英明四極会事務局長の万歳で盛会のうちにお開きになりました。今後支部会員の拡大に取り組んでいきたいと考えているところです。

(佐藤俊郎 大37・記)

(1) 大分大学同窓生のうち竹田市内に居住する者

「獲天」のメンバーに関心

佐世保支部

令和7年11月15日(土)、セントラルホテル佐世保において「四極会創立100周年記念2025年四極会佐世保支部総会」を開催しました。

ご来賓として四極会会長の三浦洋一様(大24)、大分大学理事・副学長 渡邊博子様をお迎えしました。また、同年7月5



肩を組んで校歌などを大合唱

日にレンブラントホテル大分で開催された四極会創立100周年記念祝賀会における熱気に触発された佐世保支部のメンバーとして知り合いの知り合いまで口コミで出席の勧誘に回った結果、支部会員18名にご参加いただきました。結果、総勢20人の会合と相成った次第です。

まずは支部総会から。浦哲二さん(大40)による開会宣言のあと、支部長の永石泰昭さん(大22)、来賓の三浦洋一様、渡邊博子様からご挨拶をいただき、新支部長の選任、今後の活動についての議事を行いました。顔が赤くなる前に記念写真を撮り、支部総会をひと区切りさせました。

数分間の休憩のあと、待ちに待った懇親会です。島田祐行さん(大24)による乾杯のご発声を皮切りに始まりました。

まず参加者各人による自己紹介があり、歓談タイムが始まりしばらくすると、各テーブル間の交流が始まり、学生時代の話や、現在の大学よさこいサークル「獲天」のメンバーの中にも

佐世保出身者がいるという話があったりする中で会場の熱気も増していきました。

最後に、全員が肩を組み、校歌、寮歌、逍遙歌を斉唱したあと、新支部長の宮嶋孝也さん(大38)による中締めを経て閉会と相成りました。盛り上がったこともあり、斉唱後にも全体写真を撮りましたので結局顔が赤い写真も複数存在することになりました(笑)。年に一度ぐらい

初の昼間開催に44名参加!

福岡四極会



101年目の新しい一歩を踏み出した福岡四極会

令和7年11月23日(日)スカイホール天神において「令和7年度福岡四極会年次総会兼四極会100周年祝賀会」を開催し

ました。初めて休日・昼間の開催ということで、職域での先輩会員からの勧誘による若手会員の参加

ですが、青春の一時期を大分大学で過ごしたという思い出を共有する者同士、今後も懇親を深めていこうと一同で誓い合ったところでした。

なお、三浦会長はじめ、参加者の半分以上が二次会にも繰り出しましたので、佐世保のまちもすこしは潤ったことと思えます。

(宮嶋孝也 大38・記)

が見込みづらい中で、どれくらいの方に参加していただけるのか心配していましたが、ご来賓の三浦会長・高見経済学部長・大分合同新聞 下川編集局長を含め最終的には44名のご参加をいただき盛会裏に開催することが出来ました。

今回は四極会100周年祝賀会を兼ねていることもあり、先に年次総会を行い、続いて100周年祝賀会を開催することとしました。

最初に母校の100周年を振り返るDVDを視聴し、続いて待井福岡四極会会長挨拶、三浦会長、高見経済学部長のご祝辞の後、伊藤田禎生さん(大14・元福岡四極会ゴルフ部会長)のご発声で祝宴を開始しました。

祝宴は、ゴルフ三経戦のメンバーである長崎大学瓊林会・山口大学鳳陽会代表者からいただいた四極会100周年へのお祝いメッセージを披露、福岡大学和太鼓部「鼓舞猿」のお祝い演奏と続き、三浦会長のご紹介で参加された佐賀支部の高橋おかりさん(令和6年院卒、日本舞踊を披露、と賑やかで華やかな雰囲気での進み、締めくく

りの校歌合唱、記念撮影で閉会を迎えました。
 今回の休日の昼間に開催した四極会100周年祝賀会を契機に、課題はあるものの、福岡四

極会の101年目の新しい第一歩を踏み出せたと考えております。
 (待井弘道 大27・記)

高橋さんが「異色」の舞

大分大学経済学部の同窓会「福岡四極会」が令和7年11月23日(日)、福岡市中央区の多目的ホールで開かれ、その席で、異色の経歴で同窓生になった女性に出会った。高橋かおりさん(62)。2024年に大学院を修了したばかりのホヤホヤの会員だ。いったい、どういう経過をたどったのか。

北野正剛学長はいまだに「高橋課長」と呼んでくれて、かわいがっていただいています」

その後3年間、佐賀大学で学生生活課長を務め、再び大分大学に教育支援課長として赴任した。「キャンパスで最初に目に入ったのが、経済学部100周年の横断幕だったのです。ああ、すごい歴史があるんだなあ」と、すごく感動したのを覚えています。そのときは、自分が経済学部の同窓生になるなんて、全く思っただけでなかったんですけれど」

高橋さんはもともと国立大学法人の事務職員をしていた。50歳からは管理職として、九州地区の大学を回るとい立場だった。その最初の縁が大分大学で、国際交流課長として4年間勤務した。「当時は本当に楽しくて、

高橋さんは当時、単身赴任だったので、夜はつい、近くの居酒屋に飲みに行っていたという。そして、ある日の運命的な出来事を振り返る。「一人でカウンターで飲んでみると、ある先生が仲良しの飲み友達と来られて、いろいろ話をしてい

らどう」って言って、背中を押されたわけです。夜、飲んでばかりだとダメだし、勉強しようかなと、心にスイッチが入った瞬間だった。

翌日すぐに、国際交流課長のときから親しくしている経済学部の先生にこう持ちかけた。「先生、私、修士に興味があるんですけどお。すると「あっ、そうですね」と言って、すぐに「はい、これ」と募集要項を手渡された。

その後、晴れて社会人入学を果たし、3年かけて2024年に修士号を取ることができたという。四極会員として2年目なのは、そういうわけだ。「大分大学経済学部、本当にありがとう」と高橋さん。その後、佐賀大学に戻り、退職後の現在は福岡県内の特別支援学校の教員をしている。

この日の福岡四極会に、高橋さんは和装で出席していた。日本舞踊の師範でもあり、酒が回っている具合に盛り上がる会場から、予期せぬリクエスト。これにに応じて、即興で日本舞踊を披露。バイタリティーあふれる同窓生に、大きな拍手が起きた。

(大分合同新聞社常務執行役員 編集局長 下川宏樹・記)



あでやかな舞いの高橋さん

「進撃の巨人」ゆかりの地で

日田支部

令和7年11月28日(金)に三浦洋一四極会会長、松隈久昭経済学部教授ご臨席のもと、日田市南元町のボンジュール食堂「グローブ」で令和7年度日田支部総会、並びに四極会発足100周年記念祝賀会を開催した。支部会員の他、日田に赴任中の行政・金融機関等会員含め

総勢15名の参加となった。

中野哲朗支部会員(大47)の進行により支部総会が行われ、はじめに物故者へ黙祷を捧げた。佐藤支支部長(大34)の開会の挨拶では、本部による参加費助成へ謝意が伝えられた。来賓挨拶として、三浦会長からは高商から現在に至る四極会の歴史、活躍する同窓者の紹介などがあり、支部活動継続のあり方として工夫や形態は様々考えられるが100年続いた四極会を経済学部の後輩たちにつないでいくことが重要である、と強調された。松隈教授からは、経済学部が1学科6コースとなったこと、卒業生の多額の寄付金を基に設立した奨学金基金を活用して毎年10〜20名の学生が海外留学していることなどの現況や、大学ホームページ掲載の「大分大学75年史」の紹介があった。議事に移り、事務局から令和6年度の事業報告、会計報告について資料に沿った説明があり承認された。

日田市内の「グローブ」に15名が集まりました



記念撮影に引き続きの懇親会は、小野智宏大分銀行日田支

店・若宮支店長（大43）の発声による乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中、各会員からの自己紹介、寮歌、逍遙歌、校歌の熱唱の後、最後は定番となった梶原秀一副支部長（大34）による日田式の締めで、盛会のうちに閉会を迎えることができた。

なお、「四極」は富安大二郎支部会員（大59）の実家であるクンチヨウ酒造製。また、会場となったグロープは、日田市出身の漫画家諫山創さん作の「進撃の巨人」関連のメニューや展示物がたくさんあり、国内外の「進撃の巨人」ファンの来店が多く、貸切イベントなども開催されるなど、一聖地となっている。

▼出席者（敬称略）

大分大学経済学部教授 松隈久昭

三浦洋一（大24）、森崎郁朗（大33）、大園広子、佐藤学、梶原秀一（大34）、佐藤正明（大40）、小野智宏（大43）、阿孫正明（大44）、上田慎司（大46）、中野哲朗（大47）、冷川和永（大52）、後藤久美子（大57）、安藤大貴（大64）、伊藤照幸（院40）

（森崎郁朗 大33・記）

高橋さんの舞で最高潮に

佐賀支部



全員で肩を組んで校歌や寮歌を斉唱

令和7年11月29日（土）、佐賀市内の四季彩ホテル「千代田館」で佐賀支部総会および四極会発足100周年祝賀会が行われた。日程の都合や病気で欠席者が少なく、昨年度に比べ参加人数が少なく、総勢11名で開催された。佐賀支部には約30名の登録会員がいる。

総会に先立ち、物故者への黙とう、喜多正美事務局長（大

37）の司会により議事が進行した。村井泰人支部長（大29）による支部の現況及び活動方針の説明があった。支部の現況報告では、参加できない会員の返信ハガキが回覧され、特記事項が紹介された。

84歳と最高齢で、7回目の年男の中島稔先輩（大14）による乾杯の発声で祝賀会が始まった。祝賀会では、参加者全員による

5分間スピーチが行われ、学生時代のサークル活動や寮生活でのストーム体験談、健康維持のための工夫話等沢山の話題で大いに盛り上がった。紅一点で社人大学院卒業生の高橋かおりさんは日本舞踊藤間流師範（藤真浄香）の免許を持ち、お祝いの「寿三番」を披露し、拍手喝采で祝賀会は最高潮に達した。

更なる発展を祈念して、万歳で締め、散会した。四極会本部から三浦洋一會長、大分大学高見博之経済学部長が参加された。

▼出席者（敬称略）

中島稔（大14）、坂井浩毅、中村耕三（大18）、広滝一夫（大20）、古川弘幸（大27）、野中博人（大28）、村井泰人（大29）、喜多正美（大37）、高橋かおり（令和6年院卒）、四極会會長 三浦洋一、経済学部長 高見博之（三浦洋一 大24・記）

別府湾を背景に記念撮影

速杵国東支部

令和7年度四極会速杵国東支部総会が、令和8年1月17日（土）に日出町の「ホテルソー

ジュ大分・日出」にて、会員18名の参加で開催されました。来賓として、四極会本部から三浦洋一會長と阿部通正事務局次長をお迎えしました。

まず、吉良支部長（大22）が開会のあいさつ、ご自身の近況の話に始まり、久しぶりに顔を

若手の方への感謝と今回の会が開けたことへのお礼を述べました。

また、三浦會長から四極会100周年を迎えた他支部の状況や、ご活躍されているOBの方が学生支援を行っている話を聞かせていただきました。阿部次長からは、今回より速杵国東支部にもご参加いただけるなど、ご祝辞とともに今後の活動の励みになるお話をいただきました。

総会の議事では、収支決算報

告、監査報告、役員改選等について報告・審議を行いました。懇親会は、最年長者である鈴木明久氏（大14）による乾杯の

発声ではじまりました。今回は、だれでも気軽に参加しやすいようにといいことで、ビュッフェ形式を採用しました。久しぶりの顔ぶれの参加



いやあー、うらやましい限りの所ですね

に再会を喜んだり、新しく参加された方との話にも、意外なつながりや新しい発見があったりと和やかな中にも驚きのある会でした。最後は風が強かったのですが、天気よかったです。景色のよいテラスで別府湾を背景に記念撮影を行いました。

（宮本優希 大51・記）

アットホームな楽しい会に

大分県庁支部

令和7年度大分県庁支部総会・懇親会が、令和8年2月18日（水）に大分市府内町の「鬼は庭」で開催されました。

四極会本部からは三浦洋一会长をはじめ、相良浩名誉会长、大島英明常務理事、衛藤晟一前参議院議員、高見博之大分大学経済学部長をお招きし、さらに大分県議会から麻生栄作議員、



皆さん、笑顔でリラックスした雰囲気です

木田昇議員をご来賓としてお迎えしました。支部総会では、最初に渡辺支部長から県庁支部の現状報告を兼ねた挨拶があり、その後議事

に入りました。議事では、事務局から令和7年度の収支決算報告、令和8年度収支予算、規約改正、役員改選の案についての説明がありました。

引き続き懇親会にうつり、ご来賓7名のうち代表で3名の方からご挨拶をいただきました。まず、三浦会長から今年度の四極会100周年記念事業についてのご報告がありました。さらに、衛藤前参議院議員からは議員在職時の貴重なお話をいただき、また、高見経済学部長からは在学生を含め近年県庁への就職が増えている状況などのご報告がありました。

その後、県庁OBでもある相良名誉会長の乾杯のご発声により、和やかな雰囲気での懇親会がスタートしました。

急きょインフルエンザになった会員などいたことから、会員12名、ご来賓7名と合わせて計19名と、少人数の参加ではありましたが、その分お互いの近況など、膝を突き合わせて語り合う、とてもアットホームな楽しい会となりました。

締めの前には、大学校歌、寮歌、逍遙歌を全員で歌唱し、その後麻生大分県議会議員の万歳三唱で盛会のうちに閉会を迎え、最後に記念撮影を行いました。

（三ツ股功二 大50・記）

母校も頑張ってます

大分大学支部

令和8年2月6日(金)、大分市の花邨にて、令和7年度大分大学支部総会兼四極会100周年祝賀会を開催しました。

当日は、三浦洋一四極会会長及び高見博之経済学部長など来賓を含め、10人が参加しました。支部総会は、渡邊博子支部長



四極会事務局からは全員が参加しました

の挨拶で始まり、三浦洋一会長及び高見博之経済学部長にご挨拶をいただき、令和6年度収支報告を行い承認されました。総会後は、大島英明四極会事務局長の乾杯の音頭で四極会100周年祝賀会を開催しました。

祝賀会では、今回参加者が少なかったこともあり、大分大学支部を盛り上げていく方策や、若い人たちにどのようにしたら同窓会が浸透していくかなど、若い人たちの意見もまじえ、意見交換を行いました。

最後は、宮本大輔副課長の締め挨拶と一本締めで閉会となりました。来年度は、総会以外にも大学支部内で四極会としての活動が行えるよう工夫していきたいと思えます。

(黒木護 大53・記)

4人の支店長が“抱負”

豊和銀行支部



リラックスした雰囲気参加者(花邨で)

は経済学部の近況として、新設から丸2年となる総合経済学部の各コースの状況や今年度の就職状況について、また新しく設立された地域経済社会教育開発センターの活動についてお話しいただきました。

最後に事務局による会計決算報告も承認されて総会は無事に終了。

総会に引き続き行われた100周年祝賀会では、渡部常務(大32)の乾杯を皮切りに会は盛り上がりを見せました。途中で谷支店長(大41)、内田支店長(大42)、河野支店長(大46)、梅木支店長(大54)に近況や四極会への想いを語っていただきました。その後は出席者それぞれが席を移動して所属世代を越えて積極的に交流を深めるなど、笑い声響く楽しい会になりました。

懇親会の最後は、恒例の「校歌・逍遙歌・寮歌」を大分大学混声合唱団コル・レティッヒOB松浦係長(大58)の音頭により全員で熱唱。佐藤取締役(大38)による一本締めで、会は盛況のうち締めくくられました。

(羽田野睦 大52・記)

2025年度豊和銀行支部総会および四極会創立100周年を祝う100周年祝賀会が、令和8年2月28日(土)に花邨にて、来賓に四極会本部より三浦会長、大島常務理事、渡邊常務理事、経済学部より高見経済学部長をお迎えし、総勢32名出席のもと開催されました。

総会では古里さん(大69)の司会のもと、梶原支部長(大37)の開会の挨拶に始まり、来賓を代表して三浦会長と高見経済学部長からご挨拶をいただきました。三浦会長からは、学部の枠を越えた同窓会の形が広がりつつある中で、「四極会」という名前を残すためにも四極会がイニシアチブをとっていくことが大事であると、四極会の組織強化についてお話しいただきました。また、高見経済学部長から

女性3名が出席、和服姿も

宇佐・高田支部

令和8年3月7日(土)、宇佐市法鏡寺の割烹「寿」で支部総会および四極会発足100周年祝賀会が行われ、総勢19名が参加した。宇佐・高田支部には約150名の登録会員がいる。今総会は、コロナ禍の影響を含め、7年振りの開催となった



新卒の船瀬さん(前列中央)も出席

ことから、以前よりも多くの会員が出席。新卒1年目の船瀬美希会員をはじめ、3名の女性が出席。石田恭子会員は艶やかな和服姿で参加し、和やかな雰囲気を楽し出した。

田邊靖史事務局長の司会から支部現況と会計報告が行われ、続いて三浦洋一四極会会長が挨拶に立った。

2025年度は四極会発足100周年にあたり、この100年の間に四極会から経済界や政界に多くの著名人を輩出した。昨年7月全国評議員支部長会議に併せてレンブラントホテル大分で大分支部・別府支部が中心となり、四極会発足100周年記念祝賀会を開催した。約400名の会員が一堂に集い、現役学生のスイングブラザーズによる生演奏やよさこいチーム獲天によるダンスパフォーマンスが行

われ、会場は大いに盛り上がったこと。

大分支部・別府支部以外の支部では、支部総会兼懇親会を四極会発足100周年祝賀会とし、各支部で工夫を凝らした演出で、会員の増強を図っている

と熱く語った。

そして小野田勝会員による乾杯の発声で、祝賀会に突入した。

久しぶりの懇親会で会は大いに和み、会話がはずむ。まず大島英明事務局長。続いて、学卒教員で大分大学の渡邊博子副学

長兼理事が経済学部現状や学生の就職等の講話を行った。

各テーブル毎に懇談、駅館川名物の「蟹汁」を食したのち、全員で3分間スピーチ。最近、新会社をスタートアップした若手会員からは、商売に繋がる情報提供の依頼など積極的な話題も飛び出し、「任せる、商談成立!!」などの掛け声も発せられ、大いに盛り上がった。

最後に、全員で記念写真に納まり、校歌・寮歌・道遥歌を輪になって合唱のあと、次回は倍増の参加者を目指し、相良和憲会員の一本締めで散会した。

(廣崎雅澄 大29・記)

最高齢は94歳の大橋氏

広島支部

令和8年3月8日(日)、ヒルトンホテル広島にて、三浦四極会会長、高見経済学部長をお招きし、広島支部総会懇親会及び四極会100周年祝賀会が行われ、総勢18名が参加した。参加者の最高齢は大橋晃先輩(大5)の94歳。今回初参加で令和7年3月の卒業生福田峻太さん(大73)との年齢差はなんと71歳。昨年度の歳の差記録を1年更新!実に四世代の大家族が集まりました。



皆の笑顔が最高ですね(ヒルトン広島で)

会の初めに、昨年お亡くなりになった中島克己先輩(大4)のご冥福をお祈りし黙とうを捧げました。中島先輩には広島支部の会長も務めていたなど、当会の発展に多大なるご尽力をいただきました。心より感謝申し上げます。

その後、小川浩平監事(大55)の司会で総会がスタート。まず小山文人支部長(大37)による支部の現況報告と議案審議が行われ、役員体制案が承認されました。

続いて三浦四極会会長より四極会100年の歴史や今後の取り組み方針等について説明がありました。特に四極会は経済界や政界に素晴らしい人材を輩出していること。また昨年大分支部・別府支部が中心となって四極会発足100周年記念祝賀会を開催。佐藤樹一郎大分県知事や北野正剛大分大学学長をお招きして盛大に催されたことが報告されました。次に、高見経済学部長より大学の近況や就職状況について説明がありました。

新卒で広島銀行入行の福田峻

感無量！祝賀会の大トリ

筑豊支部



総勢9名だが、元気いっぱいです

太会員の自己紹介の後、野田初男先輩（大19）による乾杯の発声で祝賀会がスタート。1年ぶりの再会を喜びました。ひとしきり会話を楽しんだ後、中山晴喜先輩（大34）による豪華賞品が伴う『大分県ご当地クイズ』がスタート。答えは三択で、①大分駅を発着しソニックが走るJR線の名前は？②ご当地出身の広島カープ選手は？その他、大分グルメ・方言・観光スポットなど、出題は多岐にわ

たり、大分を離れて長年経っている人たちにとってはかなりの難問でしたが、皆さん一生懸命考えに考え、大いに盛り上がりました。正解数ナンバー1は：三浦会長！そりゃそうですよねー！
藤井芳先輩（大20）の音頭で校歌・寮歌・逍遙歌を輪になって斉唱。坂井進先輩（大18）の中締めで次回の再会を誓って散会となりました。
（小山文人 大37・記）

令和8年3月14日（土）17時より飯塚市内の「鯛吉」において、令和7年度大分大学四極会筑豊支部総会及び四極会発足100周年記念祝賀会が開催されました。

今回は、約10年ぶりの参加者が1名、また、ご高齢にもかかわらず大学5年生の先輩も元気の姿を見せていただき、計7名の会員の出席でありました。来賓として、四極会本部から三浦洋一会長、大分大学から高見博之経済学部長をお迎えし、総勢9名で久しぶりの再会を喜び合うことが出来ました。

総会については、渡邊支部長の挨拶の後、来賓のご挨拶として、三浦四極会会長より、四極会100周年祝賀事業の新聞記事の掲載内容の説明がありました。また高見経済学部長より、令和7年度の学部卒業生の就職状況の説明がありました。その後、会計報告や総会欠席者の近況の説明がありました。

総会終了後は、記念祝賀会へと移りました。筑豊支部が支部では最後の祝賀会になるということで、大トリを飾るべく、渡邊支部長の乾杯のご発声で幕を開けました。

参加者各自の自己紹介や現況等の発表に耳を傾け、食事や飲み物を楽しみながら、楽しい一時を過ごしました。

今回の祝賀会では、四極会100周年を祝うとともに、これからの101年目に向けて支部一丸となって向かっていくことを誓い合い、散会いたしました。
（渡邊泰信 大27・記）

忘年会・新年会も賑やかに

「鬼太郎」で恒例の忘年会

中津豊前支部

令和7年度の中津豊前支部忘

年会が11月28日（金）、中津市の和風味処「鬼太郎」にて開催された。当日は四極会本部から来賓として大島英明事務局長をお迎えして総勢17名が出席した。

まず吉森彰宣支部長



あいさつする吉森支部長

は挨拶で、出席を楽しみにしていた元支部長の大河内淳一郎さんが体調不良で欠席となったことと、以前当支部に所属されていた大渡稔さんの紹介で今回、安部哲也さん（大43）と重光雅彦さん（大55）

若手との交流会開催へ

東京四極会

令和8年2月1日(日)12時より、恒例の東京四極会新年会をアリスアクアガーデン町店にて開催しました。今年もご家族連れでの参加や、学部を超えた卒業生が集まり、笑顔あふれる温かい会となりました。

東京四極会では新年会を「家族会」と位置づけており、今回もお子様連れ、ご夫婦での参加をいただき、会場は終始アットホームな雰囲気になっていました。

会是小林理事長の挨拶でスタート。「東京四極会を未来に繋ぐため、世代を超えた交流を

さらに広げていく」という決意を語られ、会場からは温かい賛同の拍手が送られました。続いて三浦会長、高見経済学部長よりご挨拶をいただき、大羽名誉教授のご発声で乾杯。懇親会が始まると、久しぶりの再会を喜ぶ声や、初めて顔を合わせる方同士の会話が自然と広がり、同窓会ならではの和やかな空気が満ちていきました。

家族連れも出席、和やかな雰囲気です

会の中盤では、在職中に博士号を取得され、退職後の現在は大学で教鞭をとられている江崎さんから、先日母校で特別講義をされた際の学生たち



の様子をご紹介いただきました。頼もしい後輩たちの姿に、参加者は興味深く耳を傾けていました。

続いて奥川前理事長から、初の試みとなる「若手との交流会」開催の提案があり、その場で計画を進めることが決定。

さらに大先輩方からの近況報

初参加が4名、現役の院生も

輪が広がる桃優会



9回目を迎え37名が出席 (レンブラントホテル大分で)

告や、歩こう会・囲碁会・若手会・ワイン会・ゴルフ会など各活動の報告も続き、会場は終始活気に満ちていました。

終盤の恒例「お楽しみ抽選会」では、お子様二人がプレゼントとして大活躍。和牛ステーキ肉や季節のフルーツギフト券など豪華景品が当たると喜びに

声が上がりました。最後は全員で経済学部校歌を斉唱し、中締め、集合写真の撮影をもって懇親会はお開きに。

その後は有志で二次会へと向かい、あつという間に半日が過ぎていきました。(小林伸彦 大33・記)

ご参加をえて9回目を迎えることができました。

大分県内で活躍する音楽ユニット「ブーケ」の優しいピアノとフルートの演奏で開宴。高野浩子桃優会会長の挨拶、関西四極会に関西桃優会が誕生したうれしい報告がありました。

三浦洋一四極会会長からの挨拶に続き、大島英明桃優会監事の乾杯のご発声で祝賀会が始まりました。

今回は総勢37名の方が参加。うち4名が初参加で皆さんから近況や感想をいただきました。現役の院生も参加し、年齢も職業も異なりますが、そこは同窓生、いろいろなご縁を結ぶことができました。

いよいよ本日のクライマックス「空くじなしのお楽しみ抽選会」スタート！ 高野桃優会

令和7年10月15日(水)、第9回四極会女性部会「桃優会例会」がレンブラントホテル大分「二豊の間」で開催されました。



和田会長（右端）も出席しました

令和7年9月13日（土）、残暑厳しく、[GRILL & BAR DINING 燦大丸梅田店（14階）]に、女性会員6名が集まり、第

2回目の関西桃優会開く

段々と楽しい雰囲気

長、三浦四極会会長はじめ役員や会員、八鹿酒造さん、レンブラントホテル大分さんから豪華景品を提供していただき、抽選が進むたびに大歓声が上がりました。

最後に佐藤三和桃優会副会長

（桃優会事務局 大園広子

大34・記）

の挨拶と桃優会オリジナル三々七拍子で閉会となりました。また次年度も楽しい企画を予定しています。ぜひご参加ください。

（桃優会事務局 大園広子

すつかり固定メンバーになりつつあります。大分大学の女性卒業生は地元志向が高く、大分県内や九州内への就職者が多いため、関西地区の在住者は少ないようです。従って、新しい会員の方が来てくださるか心配でしたが、先輩方の力強いお声かけにより、関西桃優会もベースとなるようなものができつつあるように感じています。

第2回関西桃優会では、和田

会長にも特別参加頂き、その雰囲気をご覧いただきました。固定のメンバーになりつつある方たちは、最初より段々と溶け込んでいる雰囲気もあります。今回も、最初は皆緊張した面持ちでしたが、それぞれ最近の出来事やハマっている事などを共有し合ううちに、場が和んでいき

ました。

この夏、試験勉強に向けて頑張った人、筋トレに励んだ人、阪神タイガースの応援に情熱を注いだ人等、様々な話で盛り上がりしました。最後は、和田会長からもご自身が活動されている天文クラブと星の話を熱く楽しく語っていただき、気付けばあっという間に時間が過ぎ、大盛り上がりの中に第2回関西



大阪城を望むピアガーデンで開催

長崎県と山口県の大坂事務所所長も参加されて美味しいビールとホテル料理、大阪城を望む絶景のロケーションで大いに盛り上がり、各会の懇親を深め楽しい時間を共有した。

（河野博文 大22・記）

この催しは秋の関西ゴルフ三経戦のプレイベントとして山口大（鳳陽会）、長崎大（瓊林会）、大分大（四極会）相互の懇親を図る為に開催しているもので、今回は31名の参加で行われた。

三大学合同懇親会
令和7年9月5日（金）、台

山口・長崎・大分大の31名が参加

桃優会が終了しました。しかし、まだまだ少ない人数なので、今後の関西桃優会及び関西四極会発展のために皆様のお力添えを頂ければと思う次第です。今後も女性メンバーの増加と関西桃優会の活性化を図っていききたいと思います。

▼出席者（敬称略）
小原貴子（大37）、南草以久恵（大40）、木崎亜由美（大57）、葛原美咲（大57）、山内彩（大57）、二宮夢理（大71）、和田安生（大24）
（南草以久恵 大40、山内彩 大57・記）

風15号の接近で天候が心配されたが幸運にも和歌山辺りを通り過ぎて、曇り空のもと第3回三大学合同懇親会をKKRホテル大阪ピアガーデンにて開催した。

卒業生名簿の開示など協議

経済学部教授と意見を交換

令和7年10月31日（金）午後1時～3時、経済学部第2会議室において四極会役員と経済学部教授との意見交換会が行われた。

▼経済学部側出席者

高見学部長、小笠原入試及び就職委員長、渡邊理事・副学長、松隈学長特命補佐、仲本学長特

命補佐、山口事務長、志賀総務係長 計7名

▼四極会側出席者

三浦会長、相良名誉会長、菊口理事、木本監事、大島事務局 計5名

四極会会長、経済学部長挨拶の後、議事に入る。

大学側、四極会側から問題点を話し合う

まず、経済学部の現状として次の①から⑤について説明が行われた。①経済学部の改組について（高見学部長）②令和7年度の入試の状況について（小笠原教授）③令和7年度の就職状況について（小笠原教授）④令和7年度会社組織研究について（渡邊理事・副学長）⑤令和8年度入学生に係る諸経費納付金の納入について（山口事務長）から説明があった。特に諸経費の納入については、令和7年度の任意に減少したことを反省し、令和8年度はすべての経費を一

括納入することとした。

続いて四極会側から次の

①、②について議題が提示された。①「卒業生名簿の開示不可をいかに減らすか」の議題について大島事務局長から、令和7年3月の卒業生291名中開示をしてくれた学生が60名（20・6%）だったことが提示され、開示率の引上げ方法について協議が行われた。その結果、(1)学生が提出する内定報告書の書式を改訂し、個人情報の開示をしやすいとする。(2)教授会等で教師に協力を求め、各ゼミ生に開示に協力するよう指導してもらう。ことが決定した。②会社・組織研究については令和8年度も引き続き渡邊理事・副学長の授業の一環として4月15日から毎週水曜日の第2限、全15コマで実施することが報告された。

以上をもって全議案の協議が終了し、閉会となった。

（事務局長 大島英明・記）



大分合同新聞社の役員応接室で

三浦会長ら新聞社訪問

四極会の三浦会長と大島常務理事・事務局長が令和8年3月

31日（火）大分合同新聞社に御礼の訪問をしました。

全国32支部が四極会発足100周年記念祝賀会を各地で開催しましたが、そのすべての記事を、下川宏樹編集局長（常務）が書いて、大分合同新聞に掲載してくださいました。これは、四極会の伝統と、会員がそれぞれの地元で活躍していることが大きく評価されたものです。なお、同新聞社の伊達英寿取締役常務（大41）も同席しました。

（帆足三郎 大13・記）



TM

熊谷光顕（大34回）
清水優太郎（大60回）

時代の“おいしさ”を、あなたに。

八鹿酒造株式会社

〒879-4692 大分県玖珠郡九重町右田3364番地
TEL.0973-76-2888 FAX.0973-76-3071
ホームページ <https://www.yatsushika.com>



五十嵐副夫先生

五十嵐先生

叙勲おめでとぅございませす

ゼミ生44名が祝う会を開催

令和7年10月18日(土)に大分センチュリーホテル「琥珀の間」で五十嵐副夫先生春の叙勲「瑞宝中綬章」受章を祝う会をゼミ生有志で開催しました。

参加者は関東など県外から44名に上りました。

まず、卒業生を代表して柏木英雄さん(大23)のご挨拶に続き、司会の阿部通正さん(大26)による五十嵐先生の略歴を披露した後に、五十嵐先生にご挨拶を頂きました。ご挨拶の際、「瑞宝中綬章」の賞状及びメダルを披露して頂きました。

祝電披露後、新西文仁さん(大23)による乾杯の音頭で懇親会が開始されました。

各テーブルで先輩・同期・後輩と昔話に花を咲かせる一方で、五十嵐先生ご夫妻には次から次へと卒業生が挨拶に伺っていました。

特に、筋湯のゼミ合宿・ス

華やかな雰囲気 (大分センチュリーホテルで)



別府のパストラルホテルに15名が集まる

大学12回生

我々「三九会」は卒業20年に合

今度こそ最後の三九会

キー合宿・毎年正月に先生宅にお邪魔して奥様の手料理に舌鼓を打ちながら近況報告した事等

の話が多く、話題には事欠きませんでした。

大園広子さん(大34)と黒羽紅羽さん(院28)が、ご都合で参加出来なかった五十嵐ゼミ第1回生榎山敏徳さん(大22)ご提供による花束を贈呈後、曾我部洋さん(大24)による一本締めで会はお開きとなりました。(阿部通正・大園広子・共記)

わけて昭和59年に初めて集まって以来、卒業25年、還暦、卒業45年、50年、母校創立90周年等の節目以外にも何かと理由をつけて大分は元より、沖縄、関西、東京と、都合10回以上は集まり同期の絆を深めてきた。しかし、流石に皆80を越す齢となり、母校創立100周年に

合わせて、これで区切りを付けようと、コロナ禍で1年延びましたが令和5年に「最後の三九会」と銘打って集まった。ところが、老境の域に達し、己が人生を振り返った時、キラキラと輝き、多少の事は経済の学生さんののした事ならと許された、あの居心地のよかった4年間を上野丘で共に過ごした仲間との語らいが、何とも言えず心地よく、もう一度やろうと衆議一決、今回の集いになった次第です。そんなことで、「今度こそ最後の三九会」を令和7年10月24日(金)に別府のパストラルホテルで開催した。

諸般の事情で開宴には間に合わぬと分かっていながら、皆に会いたいと遠方から駆け付けた井上、栗林両君を併せて15名の参加となった。田中君の粋な日本舞踊、村上君の朗々とした王維の惜別の詩の吟詠、100周年では世話になったと記念事業



田中さんの粋な日本舞踊



関東などから28名参加 (大分市のソレイユで)

大学14回生の同期会が四極会発足100周年を期に、令和7年10月29日(水)、大分市の「ソレイユ」で開催された。81歳から85歳までの同期生28人が関東・東海・中国・福岡・佐賀の各地域からも参加した。

衛藤伸一さんの司会で、まず、世話人を代表して加藤英彦さんが開会挨拶、次いで四極会の三浦洋一会長の挨拶、塩月靖浩さんの祝吟、此本英一郎さんの乾杯で開会した。前回はコロナが流行っていた時の開催であったので、懇談が限られたが、今回は3年ぶ

14回生が3年ぶり同期会

実行委員長を務めた野々下君差し入れの焼酎「耶馬美人」や四極会からの清酒「四極」に酔い、校歌、寮歌に続き、最後に森瀬君作詞の「惜別のワルツ」を皆で歌い、名残は尽きないが「最後の晩餐」を閉じた。

翌日は、国内唯一のホバークラフトでの別府湾周航を企画したが、天候の都合で数名のみの参加となった。水族館「うみた

まご」で童心に返りホバーへ。海からの大分、別府市街の眺めも新鮮で、新しい観光ツールになるのではと期待された。

なお、これまで実務一切を担当してくれた伊東君の清算の結果、2万円余の剰余金が生じたが、四極会に寄付することです承願います。

(相良浩・記)

りの開催でもあつて話が弾んだ。

出席者が多いので、各地域を代表して猿渡昶さん、柴田雅道さん、伊藤田禎生さん、鈴木明久さん、井上直樹さんが近況報告で趣味・健康維持のための取り組みなどを披露した。

途中、大分大学の理事兼副学

長の渡邊博子教授が飛び入り参加し、会はさらに盛り上がった。

校歌・寮歌・逍遙歌を加藤英彦さんの主唱で斉唱した後、平井丈夫さんの音頭で万歳三唱をして、3年後の再会を約し、松嶋育男さんの閉会挨拶で会を閉じた。

▼参加者(敬称略)

(来賓) 四極会会長 三浦洋一、四極会事務局次長 阿部通正

(参加者) 石井健治、伊藤田

禎生、井上直樹、衛藤伸一、葛城征志、加藤英彦、釘宮孝、此本英一郎、猿渡昶、塩月靖浩、

柴田雅道、末安健作、鈴木明久、園田健治、田所壮介、次森彬、

土森武志、中尾義郎、中島稔、西野守秀、林協一、平井丈夫、

藤沢恒生、藤浪勲、堀寛爾、松嶋育男、森修吾、葉師寺和雄

(衛藤伸一・記)

古希記念の同期会

大学26回生



2年後に50周年記念同窓会を開くことを決定

令和8年1月22日(木)にキハ会館「ローズの間」で「大学26回生古希記念同期会」を開催しました。

当日母校経済学部で大東文化

大学特任教授の江崎康弘さんが凱旋講義を行うことをきっかけに、四極会合同新年会に相乗り

して実施しようという呼び掛けに応じた13名が参加しました。

合同新年会の途中で演奏した「津久見音楽友の会」代表の小

野崎宏さん(前津久見支部長)もその内の1名でした。又、遠

路はるばる宮原宏次岡山支部長が参加してくれました。

女性の同期に精力的に声掛けしてくれた中尾(宮本)由久子

さんが紅一点の参加者でした。

木山広喜さん(大10)が作成した横断幕を掲げて集合写真を

撮影後、近況報告や当時を偲んでいました。

2年後が卒業50周年に相当するので令和10年中に2年の期間

を掛けて今回の参加者を中心に全国規模の50周年記念同期会を開催することも決定しました。

▼参加者(敬称略)

(左後方から) 宮川喜久生、荒川孝二、仲道伸一、津行孝充、玉ノ井志春、明石泰信、飛高彌一郎、宮原宏次、(前方左から) 阿部通正、小野崎宏、中尾(宮本)由久子、江崎康弘、高橋良三

(阿部通正・記)

52回目の関西四極会 懇親ゴルフ会開催



長谷川さんが83の好スコアで優勝

場所…茨木高原カンツリー倶楽部
天気…晴

猛暑だった夏も終わり、朝晩急に寒くなった霜降の日の翌日、令和7年10月24日(金)に第52回関西四極会懇親ゴルフ会を開催しました。

今回は11月15日に関西ゴルフ三経戦を行う茨木高原カンツリー倶楽部に場所を変え開催、2組8名の参加でした。

絶好のゴルフ日和ながら、少々肌寒く感じる中、広大なフェアウェイとバンカー、難しいグリーンに悪戦苦闘しながらのラウンドでした。

4パット、5パットも有ります

コアが纏まらない中、結果はアウト41、イン42と実力を発揮された長谷川さん(大17)が優勝、2位は後藤さん(大27)、3位は河野(大22)でした。

今回は各賞金、賞品の他100周年記念ボールと宇佐産カボスを参加者全員に渡ししました。

来月の三経戦では今回のラウンド経験からやはりグリーンは手前につけ、奥にはつけない作戦をたて、団体戦での連覇を期して散会しました。

▼参加者(敬称略)

加藤皓以(大11)、宇都宮護(大17)、長谷川浩二(大17)、大石



ごらんの通り、皆さん元気いっぱいです

本戦は筑紫野CCで競った。距離は短いものの、9・5ftの打ち上げグリーンや戦略的なバンカーに、正確な距離判断が求められるなか、全員で30個のPar等を獲得する熱戦になった。優勝は鍵本君、好

コースでの距離感に苦戦しながら、グッドプレー賞を獲得した。本戦は筑紫野CCで競った。距離は短いものの、9・5ftの打ち上げグリーンや戦略的なバンカーに、正確な距離判断が求められるなか、全員で30個のPar等を獲得する熱戦になった。優勝は鍵本君、好

哲史(大22)、河野博文(大22)、田崎隆徳(大32)、松尾信(大26)、後藤寛(大27)、(河野博文 大22・記)

20回を記念、話が弾む

第17回生のゴルフ会

令和7年11月10日(月)〜11日(火)、四極17ゴルフ会を福岡県筑紫野市で開催した。今回は20回目の開催と32ゴルフ場訪問を記念して、前夜祭には近隣在住の同級生にも呼びかけ、椿原・武重・日高君が駆け付けた。呼びかけでは、皆さんの体調不良などの近況や河野俊夫君

のご逝去の報に接し、傘寿を感じるものとなった。玄海の活魚などを味わいながら、大雨の琴海、三線ライブの琉球、笠雲の南富士、コロナ下の瀬戸内、〇〇君等の武勇伝など、話題は尽きず盛り上がった。前哨戦は天拝湖を臨む皁月G.C、林に囲まれた打ち上げ

調なスタートを最後まで維持し、最終ホールでの2個目のBirdieで優勝を決めた。第17回以来の優勝、ダブルペリア王の復活で、賞品の辛子明太子と副賞を獲得し喜んでいった。準優勝は長谷川君、5ホール目から盛り返し、NP賞、博多有名3店のラーメンを獲得、エージシューターとしての内容に満足していた。3位は田川君、3連覇は逸したが、腰痛を感じさせないショットで、NP賞、博多有名2店の洋菓子を獲得、無事完走に感激していた。

以下、5ホール目から盛り返し、Par等6個とDC賞を獲得したが、HDには恵まれなかった小田。早朝ゴルフで集中力アップに努めた成果が、スタート3ホール連続のワンパットなどとして実った引田君。体調回復後のトレーニングに励み、4目標を掲げて臨んだ結果、NP賞2個の獲得などの成果に満足していた坂本君。体調回復に努めているなか、2日間プレーの無事終了に満足し、次回での復活を目指していた溝辺君。好調なスタートであったが、全ParがHDに反映され恵ま

OB会だより

OB戦後に激励会

硬式野球部

令和7年11月29日(土)に大分大学硬式野球部OB会が開催されました。

次の100年に繋がる新しい取り組みとして、現役部員の負担を減らす為に「OB戦」と「現役部員激励会」両方を1日のみ



新しい取り組みに39名が集まる

辻本豊OB会事務局長(昭和50年卒・教育)が開催宣言、麻生宙也事務局長(大56)が司会を担当。

OB戦を終え、これも又新しい取り組みとして、大分市内に移動せず、そのまま且野原キャンパスの生協の食堂「B・Forest」にて「現役部員激励会」を開きました。OB11人に現役の野球部員や女子マネージャー等28人、計39人が出席。

の開催にしました。まず、12時過ぎのOB戦に先立ち、OBの皆様から寄せられた寄付金を帆足三郎会長代行として志波計介さん(大19)が、活動助成金として、学生に手渡しました。OB戦で硬式球はちょっと怖いというOBの為に軟式のOB戦を新たに加えて、その後硬式のOB戦を開催。

まず、記念撮影後、帆足三郎会長代行として志波計介さん(大19)が挨拶、次いで、学生代表として前主将 佐藤翔太さん(教育3年)が現状を報告、一部リーグ入りを決意してくれました。

OBと学生が酒を酌み交わし(1年生と2年生の未成年者該当者はノンアルコール飲料で)、和やかに談笑していました。途中、現役部員の自己紹介、アトラクション、OBスピーチ、4年生のOB会入会セレモニー等2時間に及ぶ宴は、あつという間に過ぎて、白佐敏朗さん(大21)の一本締めで閉会しました。(白佐敏朗 大21・記)

初の同窓会に感激!

ボウリング同好会

(軌跡)昭和40年にはTVで大分大学のボウリング競技が放映されていて、九州共立大学が慶應義塾大学等を寄せ付けず連覇し



大分市のOBSボウルに19名が集結

ていました。

早朝ボウリングを楽しんでいた私はボウリング同好会の立ち上げを思い付き、規約作り・メンバー(4年生 徳丸修・立石秀幸・田坂雅憲(大19)、3年

生 篠田和博・久木田伸・藤山隆夫(大20)、2年生 窪田章八郎・三浦洋一(大21)を大学に申請し認可され、昭和45年4月1日に福岡市福岡スタジアム内の「九州学生ボウリング連盟」に会員登録しスタートしました。

7月の夏休みには大分エースレーンでの九州大学の合宿に参加しレベルアップを図りました。8月6日北九州市開催の第8回九州ボウリング大会に徳丸・田坂・篠田・久木田・藤山で初参加、徳丸はダブルスの1ゲーム目で最高スコア250点をたたき出しました。又、フランチチャイブを「南大分レーン」に変更しました。

(OB会) 令和7年10月4日(土)に当同好会の初同窓会を「OBSボウル」にて昼過ぎから19名の参加を得て先ず競技を実施、優勝は平山利広さん(大27)、準優勝は窪田章八郎さん、ベストスコアは2ゲーム338点の私でした。

約55年振りの再会で盛り上がり、懇親会では司会は平川楨二さん(大24)、県外からは山口県より西祐司さん(大27)、福岡県より平城信明さん(大32)



東京や大阪から29名が参加 (大分市のレムブランドホテルで)

自動車部

あれから50年…残る面影

が参加され、表彰式を行いました。約20年間続いた同好会の名簿を幹事の落石隆紹さん(大24)が説明後、自己紹介に移り、親睦を深めました。夜の懇親会を都町の「海老酔」で

開催し、大分バス株式会社代表取締役社長高寄和弘さん(大28)も加わり、思い出話に盛り上がりました。(徳丸修 大19・記)

29名の参加を得て開催されました。

森幸一さん(大22)が司会を勤め、

此本英一郎さん(大14)・深見光春

さん(大19)の挨拶に続き、梶山哲

朗さん(大20)の乾杯の音頭を皮切

りに、あの時この時とタイムスリッ

プして、久々に旧交を温めました。

途中には、和田英治さん(大22)

の「祝い吟」披露、部内結婚の

平野和彦さん(大23)・裕子さん

(教育学部)ご夫妻の俳句披露、

丸山一郎さん(大25)の近況報

告もありました。

「あれから50年!!」、歳はとっ

ても昔の面影は残り、時間を忘

れるほど楽しい時間を過ごし、

高井照道さん(大20)の締め

音頭で一次会を終えました。

二次会は、当ホテルの14階の

レストランで、「西大分の花火大

会」を眼下に見ながら懇親を深

め終了しました。

(柴尾敏夫 大18・記)



信用で人をつなぐ
ジェイリース

大分本社

〒870-0034 大分県大分市都町1丁目3番19号 大分中央ビル7階
TEL.097-534-2277(代表) FAX.097-515-7878(代表)



パーン!ストライク!快感!

大分支部ボウリング大会



参加者の楽しい笑顔が見られたので、第2回を夏頃に実施します

令和8年2月7日(土)にあのアクロスタウンの「OBSボウル」にて第1回「大分支部ボウリング大会」を開催しました。

参加者は女性5名・現役学生3名・職域会員2名を含めて21名でした。

初めての運営だったので徳丸修大会会長(大19)始めボウリング同好会OB会の6名のご協力によりスムーズな運営をすることが出来ました。

又、ボウリング同好会OB会の窪田章八郎 前中津豊前支部長(大21)より焼酎「耶馬美人」、徳丸会長が自身の畑で栽培している「文旦・レモン・カボス・柚」等の柑橘類のご提供を頂いたの

で多くの賞品を提供できることが出来ました。

衛藤秀樹四極会大分支部副支部長(大28)の挨拶に続き、徳丸会長の挨拶、会長指導による準備体操、落石隆紹さん(大24)のルール説明後プレーを開始しました。

70歳以上のグループA、高校生以上69歳までのグループB、女性のグループCに分けて2ゲーム行いました。

グループAの優勝は落石隆紹さん、グループBの優勝は工藤将人さん(大59)でした、工藤さんはベスグロ賞・ハイスコア賞(232)も獲得しました。グループCの優勝は大池ひろみさん(教52)でした。

特筆すべきは安藤幸江さん(教52)が第一ゲームで4連続ストライク(フォース)を始めスペアー量産で、工藤さんに続く230というハイスコアを出しました。

スコアに関係なくストライクやスペアーを取った時のハイタッチをして楽しそうな皆様の笑顔が見られたので、次回は夏頃第2回ボウリング大会を開催するということで散会しました。

(阿部通正 大26・記)

サマーキャンプで一体感

令和7年9月24日(水)から26日(金)にかけて開催されたサマーキャンプは、約70名が参加する大規模な行事となりました。1年生から4年生まで幅広い学年が参加し、学年の垣根を越えて交流を深める貴重な機会となりました。初対面の学生同士が協力し合い、時間を共に過ごす中で仲間意識や連帯感が生まれ、組織としての一体感を強めることができました。

今回の成功の大きな要因は、企画係の高い計画性と行動力にあります。限られた時間の中で

入念な準備を重ね、本番を見据えた確かなスケジュール管理を行いました。そして本番では自ら率先して行動し、参加者を引っ張っていく姿勢を見せました。また、人を楽しませたい、喜ばせたいという強い思いを持ち、全員が笑顔になれるよう工夫を随所に凝らしました。こうしたエンタメ力と主体性が相まって、参加者からも「来てよかった」「また参加したい」といった声が多く寄せられました。



70名が支え合って、キャンプは大成功

さらに、思学会の活動として、各メンバーが自分の役割に責任を持って取り組んだことも大きな成果です。企画係だけでなく他の担当者も協力し、全員で一つのイベントを支え合う姿勢が、今回の成功をさらに確かなものとなりました。

(思学會執行委員長 宮田将弥・記)

四極文芸

短歌

山邊 幹生（大阪府枚方市・大16）
 飲み薬麻酔注射で吾はなし
 気づきてそこに妻のほほ笑み

綿取りて鼻を花びんのバラにつけ

匂いは確か 治癒へ着々

床替えに白きナースの 四人組

しゃべりと笑顔 まるで花束

次森 久雄（大分市・大23）
 行き行けど見晴らしきかぬ日かげ道
 霊山の森の木立は深し

修験者が往来せしとう岩窟を

くぐりて登る日田岳滅鬼神

滑稽なる方言の指標ほほえまし

疲れやわらぐ樅の木山登山

川柳

城元 保昭（大分市・大7）

切り詰めた老後揺さぶる物価高

人生の節目節目で祝い酒

欲しかった余生の自由持て余す

俳句

利光 征四郎（大阪市・大11）

青山昏れて 灰白き 大枯野

元朝や 金剛山地 晴れ渡り

小鳥去にて 杜がらんどう 冴え返る

湯浅 喬（大分市・大11）

床を摺る能の白足袋 秋立ちぬ

間合い良く 鼓打つ音 寒ざらひ

寒橋の響く路地奥 漁師宿

芋岡 勝一（白杵市・大15）

青青と息吹広がる 冬菜畑

玉砂利の音ついて来る 寒の朝

阿吽像欠伸もらひし 小春かな

小林 康祐（さいたま市・大16）

産土の神より受けし 豆をまく

春立つやどこか浮き浮きそわそわと

路地裏に 日の差し込みて 春隣

野田 初男（広島市・大19）

枇杷咲いて農家の門の 高級車

朝焼や雪の屋並のひろごりて

山間の日に 蠟梅の 浮かびをり

平野 和彦（枚方市・大23）

武者駆くる 糺の森の 若葉雨

トタン屋根 音色変へたり 春の雨

花筵 飲みかけの酒 こぼしをり

お知らせ

会報四極にとって「四極文芸」は最高の読み物で、
 会員も心待ちにしています。若い人の投稿をぜひお
 待ちしています。

書道家でハーモニカの名人

『新企画』『あんな人・こんな人』がスタートしました。四極会は美に多彩です。「へえ、そんな人があるんかえ！」

第1回は木山広喜氏（大10・大分支部）に登壇していただきました。

お話を伺って、私もびっくりしました。木山氏は、書道や絵画、音楽に高い腕前をお持ちです。それに何といってもハーモニカの演奏は抜群です。大分支部の総会兼懇親会の最後は、必ず木山氏のハーモニカの伴奏で、校歌・寮歌・逍遙歌を大合

唱します。また、登山や歩こう会の時なども、木山氏のハーモニカの伴奏で皆で歌います。四極会にとっては大変ありがたい存在です。

木山さんは中津市の生まれで、中津の豊田小、豊陽中を卒業して昭和33年中津南高校（前身は中津中学校）から大分大学経済学部に入学しました。

Qハーモニカが大変お上手ですが、小さい頃から好きだったんですか。

父親がピアノの先生をしていて、小学校の入学式や卒業式で

は父がピアノの伴奏をしていました。

小学5年生の時に父がハーモニカを買ってくれました。夢中になりました。誰かに習ったということはありません。自己流です。ただベースの入れ方は先輩に習いました。

Q木山さんはいつもハーモニカを持っていきますね。

ハーモニカは小さく軽くて、海外旅行や登山などの時、持ち運びがいいんですよ。私はカバ

ンにいつも入れています。

四極会の山登りの時は大きな紙に歌詞を書いて持って行くんです。そうすると、皆さんが前を向いて歌詞を見ながら歌ってくれます。小さな紙に印刷しますと、皆さんが下を向いて歌ってしまいます。

Q木山さんはまた、書道や絵画にも抜群の腕前を發揮しておられますが、そのルーツを教えてください。

父が書道を教え、母が水墨画を描いていました。また伯母（母の妹）は日本画院の会員でした。大分市のコンパルホールや豊前市役所・竹田市役所にも伯

木山広喜氏のプロフィール

昭和14年（1939）生
中津市出身

昭和37年

大分大学経済学部を卒業、
大分銀行入行

平成6年（1994）

大分銀行 定年退職

◎書歴

教師の父親より小学生から書道の指導を受く

・大分県美術協会 書道部会に

・永年所屬

・玄睦書道会…研修部、理事、
支部長

・大分銀行 行友会…書と水墨
画教室

◎書作品

県内の山頂標識、社務所の
看板、寺院の表札など

大分大学経済学部 創立百
周年記念碑の揮毫

母の絵が飾られています。伯母は日本画を本格的にやっています。

書道は、小学5年生の頃から始めました。父親から特訓を受けていましたので、そういう意味では父の影響が大きかったと思います。

Q書では、人から頼まれることもある、とお聞きしましたが、

四極会はもちろんですが、◎囲碁会、◎ゴルフ会、◎祝賀会などの横断幕などいろいろな人から頼まれました。大分市内にAPUの外人学生にお茶を教えている同級生がいて「茶掛

木山 広喜 氏
大学10回（86歳） 大分市



「け」などを頼まりました。
 また、大分市野津原のお寺の「由緒書き」も私の書です。
 そして何よりも、「大分大学経済学部創立百周年記念碑」の揮毫を手がけました。

Q 木山さんは大学10年生です。お兄様が経済学部に入学されたので経済学部を受験したとお聞きしましたが。

小さい頃から兄の真似ばかりしていたので、自然とそういう結果になりました。ちなみに兄は大学9年生です。

Q 木山さんは1・2年生時は鴻図寮、3・4年生時は豊明寮で過ごされたんですね。学生時代はどのように過ごされましたか。

剣道部に所属していて、国東の高校までよく試合をしに行っていました。ゼミは国際原論の内田先生でした。就職は地元の大分銀行に入り、定年まで銀行一筋でした。

Q お菓子の「菊家」のラベルも手掛けられたとお聞きしましたが。

大分県由布市に「菊家」というお菓子の老舗があります。大



木山さんが揮毫した百周年記念碑

した。

◇ ◇ ◇

木山さんとは、大分市の四極会事務局でお話をしました。雑談の中で次のようなことも言っておられました。

・大分市は地震が多いが、中津市はほとんど地震にあつたことがないと感じています。

・中津市に近い宇佐市に宇佐神宮が建てられたのも、「地震が少ない」というのが理由だと思います。

・中津は旧一万円札の福沢諭吉の里でもあります。福沢旧邸を通って小中高に通学していました。

約30年前になります。この菊家からお菓子のラベルを書くように頼まれました。それも社長から直接電話がかかってきたんです。私はいくつか書いて持って行きました。社長は私の字を気に入ってくれました。

これらラベルは、その後何年間か続けて使っていただきました。

「さぶちゃんの突撃インタビュー」は東京エレクトロン創

業者の久保徳雄氏で終了と致します。

久保氏が32回目、実に16年間に亘ってお送りしてきました。

声楽家や版画家、市長に一流会社の社長といった錚錚たる人々を取りあげてきました。皆さん私のインタビューに気軽に答えてくれて、本当に助かりました。改めてお礼を申し上げます。

年が改まって新しい企画がスタートしました。題名は「あんな人・こんな人」です。四極会にはユニークな人が多

くて本当にビックリします。経済学部の卒業生なのに芸術家が多いのです。それも玄人はだしで、実に見事です。また、家業を継いで、お寺さんや菓子職人と

多彩です。そんなユニークな人々を会報四極で紹介いたします。皆さんのお近くで「こんな人がいますよ。あんな人もいますよ」という情報を是非お寄せください。お待ちしております。

「さぶちゃんのあんな人・こんな人」の題字は、木山さんに書いていただきました。

〔四極〕編集長

**忘れられない
奥穂高の登山**

木山さんと言えば、「書道家」「ハーモニカの名手」「水墨画の先生」と四極会の会員なら誰でもご存知だと思われる。彼はその他実に多趣味で囲碁（二段）、麻雀、短歌（会報四極に投稿）、旅行、登山と数えたらきりがな

九州の山々、日本アルプス、韓国のウルサン山岳との友好登山で韓国の山にも何回も登っている。それぞれ思い出は沢山あるが、登山の途中で台風に遭った奥穂高の登山は忘れられない。当初の計画では前穂、奥穂、槍ヶ岳・上高地と縦走する予定が、奥穂の山小屋で台風に足止めされ、2日間山小屋に滞留した。台風一過天気が良くなったので「台風のあとは浮石があるので注意するように」との周囲

の人からの忠告を胸に北穂の山小屋へ。槍行きを断念し涸沢経由で上高地へ無事到着した。

（渡部昭三 大10・記）

水墨画に囲碁・麻雀・短歌・登山…



大分大学初の女性理事・副学長

渡邊博子さん(大36)大活躍!



渡邊博子副学長

令和7年10月、大分大学初の女性理事兼副学長(教育担当)が誕生しました。その名は渡邊博子さん。

昭和63年に大分大学経済学部を卒業。中央大学大学院博士後期課程を経て、旧通産省の外部団体の研究員になりました。

2006年に埼玉県にある城西大学で教育者としての第一歩を踏み出しました。城西大学では11年間勤務しました。

2017年、母校の大分大学経済学部にて社会イノベーション

学科が開設され、教授として招かれました。

その後、学長補佐として男女共同参画や社会連携の取り組みにも力を注いできました。

渡邊先生は四極会の一員で、本部の常務理事でもあります。

先生とのゼミは外に飛び出すことが多く、その一環として経済学部創立100周年記念イベントとして「大分の歌音楽祭」を開催しました。歌でふるさと大分を盛り上げよう、音楽で地域を賑やかにしよう、という目的から生まれたものです。

音楽祭は、お部屋ラポ祝祭広場(現在のトヨタカローラ大分祝祭の広場)などで開催してきました。これによって地域の皆さんとの結びつきは更に深くな

りました。

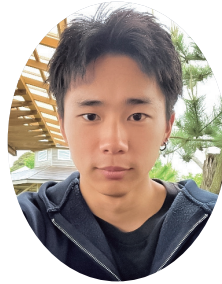
渡邊先生は、「ここまでやってこられたのも、まさにエン・ウン・カンの賜物です」と言っています。

(帆足三郎 大13・記)

お疲れさま 思学会執行部

思学会で自分の成長を実感

委員長 宮田将弥



宮田将弥 さん

まとめらうえで特に苦勞したが、皆に共通の理解をさせることです。一人でも理解できない人、誤って理解している人がいればうまく組織が機能しなくなる。そうならないように対策をするのがとても大変でした。

●四極会の印象は?

四極会は家族のような存在だとこの一年を通して印象に残っています。四極会の先輩方は現役の経済学部生のために陰で様々な支援をしてくださり、また、私が四極会の事務所にお邪魔したときには、三浦会長、大島さん、阿部さん、大園さんが毎回笑顔で迎えてくれ、気さくに話してくれるのでとても居心地がよかったです。私はボーリング大会に出席させて頂いたのですが、そこでも四極会の先輩方が気さくに話しかけてくれ、とても楽しかった記憶があります。四極会発足100周年祝賀会の時には、様々な世代の人達が肩を組み大分大学の校歌を

●思学会を一年間引つ張つてこられ、良かったこと、苦勞したこと、一番の思い出等

皆の前で話すこと、思学会という組織をまとめることにとっても苦勞しました。私はもともと皆の前で話すことはあまり得意ではない人間ですが、この一年で何度も人前で話すという機会があり、毎回とても苦勞や緊張はしたものの、少しは成長できたと実感しています。

大きな組織をまとめるということはそのすこく大変でした。

新入生歓迎会で達成感

副委員長 原口桃華



原口桃華 さん

●将来はどのような方向に進みたいですか

将来は金融系の仕事に進み、在学中にお世話になったこの大分を金融面で支えたり、人々との繋がりなどを大切にしたりし、大分から出ていった人たちがまた大分に戻ってきたいと思うような場所を作っていきたいと考えています。

思学会の役員として一年間活動をする中で、特に印象に残っているのは、私たち学生が主体となって企画・運営をした新入生歓迎会です。思学会の2、3年生を中心に計3回の新入生歓迎会を実施し、どのようにすれば思学会の魅力を伝えられるの

か、また新人生に楽しんでもらえる活動とは何かを考えながらレクリエーションを計画しました。下級生を含めて全体に指示を出し、意見をまとめながら準備を進めることは想像以上に大変でしたが、その分、当日新生が楽しそうに参加してくれている姿を見たときには大きな達成観を感じました。

また、学部と協力して導入セミナー単位で実施したバスハイクも思い出深い活動の一つです。外部の方々の協力を得ながら、香々地・白杵・住吉浜の3コースに分かれて活動を行い、1年生と交流を深めることができました。入学して数週間で行われるバスハイクでしたが、まだ関わる機会の少ない学生同士がコミュニケーションをとる姿を見て、思学会の役割の大きさを改めて実感した活動の一つでした。

四極会発足100周年記念祝賀会にご招待いただき、参加した際、多くの先輩方とお話をすることができました。この経験から、四極会は学生生活を送る中で普段かかわることのない、先輩方とのつながりを感じることでできる貴重な場であり、多くの方に支えられて思学会の活動が成り立っていることを実感

する機会でもありました。

今後は地元である宮崎県に戻り、地域に貢献できる仕事に就きたいと考えています。思学会での経験を通して学んだ、周囲と協力しながら物事を進める力を生かし、地域社会に貢献できる人材へと成長していきたいです。

大分に残り貢献したい

副委員長 渡 小華



渡 小華 さん

思学会副執行委員長として、この1年間務めさせていただいて、人をまとめることの難しさ

を実感しました。特に新入生歓迎会やバスハイクが立て続けに行われる3月から4月は、どう説明すれば伝わるか、どうすれば連携を強められるかをよく考えた時期でした。説明が上手く伝わらなかつたり、ゼロから行事を作り上げなければならなかつたりと、なかなか苦しい時期もありましたが、他の執行部

3人が心の支えとしていてくれたおかげで、無事数々の行事を乗り越えられました。自分自身としても、価値観や心の面で特に大きく成長でき、大学生活の中でも一番と言えるほどの良い経験になりました。そして、執行部をはじめとして、かけがえない仲間ができたことも、思学会の執行部をして良かったことの一つです。

四極会は、創立100年を迎えた今でも卒業生同士の繋がりが強固なものとして存在しているという印象があります。創立記念パーティーに出席させていただいた際、2・3年前に卒業された方から数十年前に卒業された方まで広く参加されており、楽しくお話しされているようでした。その様子から、交流の場を大切にされていると感じました。

将来は、大分県の発展に貢献できるような仕事に携わりたいと考えています。地域活性化や地域社会の問題について学びたいと思い入学してから3年、大分のあたたかい人や魅力に触れて、大分に残り、貢献したいという気持ちになりました。

濃い100年の思い出

副委員長 川田智也



川田智也 さん

私が思学会の執行委員として活動してきて良かったと心から感じたことは、多くの人と出会い、仲を深めることができたこと、やりがいのある活動で大きな達成感と自分の長所が発見できたことです。

高校生の頃には部活動のキャプテンを務めていたり、文化祭で人前に出てパフォーマンスをしたり、何かと人前に出ることが多く、それを楽しんでいる性格でした。大分大学に進学し、思学会に入会して、副執行委員長という役職があることを知り、思学会という自治会の先頭として自分自身を成長させていたと思う、この役職を務めさせていたただくことになりました。

活動を通す中で、周りの人を見る目が育ち、個人的で信頼における他のメンバーの人間性を理解した上で、円滑に活動を進

めることができました。一番の思い出は、決め切ることができません。それ程に一つ一つの思い出が濃く、日常の思学会メンバーと過ごす何気ない時間まで、私にとっては大切な思い出です。

四極会の印象としましては、昨年発足100周年を迎えられたことで、より大規模で影響力のある同窓会であると感じています。ボウリング大会や合同新年会など学生のような若い世代が参加しやすい活動も実施しており、世代の垣根を超えた組織でもあると思います。発足100周年を迎えられたこと、誠にありがとうございます。加えて私たち経済学部生への度重なる支援、私たち思学会との日々の連携に心から感謝いたします。これからも思学会は代々続いていきますので、これからも何卒よろしくお願いいたします。

令和8年度 思学会執行役員

委員長

楠 京弥 (愛媛 八幡浜高校)

副委員長

東 昊太 (大阪 上宮太子高校)

内村 乙花 (鹿児島 鹿屋女子高校)

横手 郁里 (佐賀 鳥栖高校)

四極会と思学会が交流

四極会役員と思学会新旧役員との交流会が令和8年3月13日(金)大分市内の「花邨」で開催された。

思学会からは旧役員3名、新役員4名の計7名が出席。四極会からは三浦会長(大24)、大島事務局長(大24)、木本監事(大25院1)、阿部事務局次長(大26)の4名が出席した。



晴れやかな表情の思学会の皆さん

まず三浦会長が挨拶に立ち、「四極会とは」と「四極会リーフレット」を使い、四極会の歴史、現役学生に対する支援内容、花邨の名物「ざる豆腐」のほかに美味しい料理をいただきながら会は和やかに進み、思学会メンバーの自己紹介がスタート。新役員からは出身地や出身高校、特技や今後の抱負等が熱く語られ、旧役員からは1年間の苦労話やうれしかったこと、四極会100周年記念祝賀会に出席した時の感想や就職活動についてと話は多岐に及んだ。

時間はアツという間に進み、互いに協力し合っている！と誓い散会した。(大島英明 大24・記)

ホームカミングナイト nonna

令和7年11月2日(日)に大分大学旦野原キャンパスにて「大分大学ホームカミングデー2025」が開催されました。大分大学同窓生との絆を深め、更なる協力と連携関係を築いて、併せて学部間の垣根を超えた同窓会相互の交流推進を目的に開かれるものです。

この日は天候に恵まれた一日で、一般市民にも開放され、学内には多くの店が並んで賑わいました。

午後3時30分から、大分大学学生交流会館「B・Forest」で、今年「玉樹会」が幹事としての特別講演会があり、元厚労省医政局医系技官の中西理氏による「大分の地域医療のこれから」と題しての講演でした。

引続き各学部の現状報告に続き、各同窓会同窓生代表による近況報告がありました。17時30分より三浦会長の挨拶に続き「桜樹会」会長廣田美咲氏による乾杯の音頭を皮切りに懇親会が開催され、大学と同窓生が交流を深めました。

懇親会では「吹奏楽部」に続き「Jazzサークル(Levent)」による演奏が奏でられました。

「福運会」会長上杉奈菜氏による閉会の辞により終了となりました。

ました。若手同窓生の参加を如何にして増やすかが今後の課題です。(阿部通正 大26・記)

お笑い・カラオケ コンテストも最高

11月3日(月)大分大学旦野原キャンパスでの蒼稜祭(学園祭)で「思学会」主催の「お笑い・カラオケコンテスト」が開催されました。

四極会が蒼稜祭に広告を提供している関係上、コンテストの審査員を頼まれ、会長・事務局長名代で私が参加しました。

お笑い・カラオケ各々4組が参加して激戦が繰り広げられ、どの参加者もレベルが高く、お笑いの部では同点優勝となりました。

優勝者への賞金授与の榮譽に預かり、緊張しました。その後は屋台を梯子しました。(阿部通正 大26・記)

徳丸さんがV 大分支部の麻雀大会

令和7年12月13日(土)に麻雀クラブ「中」(ちゅん)で第



和田康生さんも元気に出席

31回「大分支部健康麻雀大会」を開催しました。

佐藤辰夫四極会大分支部顧問(大22)の開会宣言に続き、今回初参加の徳丸修さん(大19)、城井敬男さん(大39)、30年振りの参加永瀬和孝さん(大28)の挨拶、帆足三郎会長(大13)によるルール説明の後に競技開始となりました。

優勝は徳丸さん。尚、徳丸さんは、11月16日に長崎で行われた全国麻雀大会で一般参加者400人とプロ8人、計408人中4位に入賞する快挙を成し遂げました。準優勝は永瀬さんでした。

大先輩の和田康生さん(大2)の楽しそうなお顔を拝見するにつけ、来年度からは原則年央・年末の年2回開催していくことになりました。

初心者歓迎、ご参加お待ちしております。(阿部通正 大26・記)

経済学部276名が巣立つ



学位記授与式で表彰される学生が壇上に並ぶ

令和7年度卒業式・学位記授与式が令和8年3月25日(水)「iichikologranシアタ」で開催されました。学部卒業生(学士)は1,044名、修士・博士課程が206名。内経済学部は学部卒業生が273名、修士・博士課程が3名でした。

彰する学生表彰が行われ、経済学部からは藤村美佑さん(社会イノベーション学科)が表彰されました。北野学長は「現在は複雑で変化が激しく多様な課題が存在する。それを単なる『困難』としてではなく、新しい未来を切り拓くための『問い』として受け止め、社会の課題を『自己の問い』としてとらえ、持続可能で豊かな地域社会を創る力になってほしい」と告辞された。

卒業式の後、経済学部卒業記念式典がホテル日航オアシスタワー15階「孔雀の間」で保護者も参加して盛大に行われた。高見学部長の挨拶の後、三浦四極会会長が挨拶に立ち、「『石の上にも三年』という言葉がある。社会人になるとつらいこともあるかもしれない。しかし、3年間我慢すれば必ず光が見えてくる。是非がんばってほしい。つらいことがあった時、力になるのは同級生や同窓生。四極会は全国に39の支部がある。どうか赴任地の最寄りの支部に参加していただき、先輩達と交流を持ってほしい。先輩たちは必ず後輩たちの力になる」とエールを送った。

続いて四極会会長賞の表彰があり、公認会計士試験に合格した西澤智紘さん。「駄菓子屋くする」の事業展開をした今井美月さん、渡邊咲音さん。大分市や県が企画したプロジェクトに携わった渡邊ゼミ4年生11名が表彰された。

最後に次期経済学部長の石井まこと教授が学生たちにはなむけの言葉の後、ゆずの「栄光の架橋」のサビの部分の独唱。一本締めで締めくくった。(大島英明 大24・記)

人生の出会いを大切に



渡邊咲音 さん

渡邊ゼミ4年 渡邊咲音

大分県立大分西高等学校出身です。本学では、大分の地域活性化に取り組み渡邊ゼミに所属しました。本ゼミは、大分の企業や高校生との交流、学外でのフィールドワークなど、実践的な学びの機会が多い点特徴です。地域と直接関わりながら活動できることに大きな魅力を感じていました。

将来は、どのような出来事も前向きに捉え、柔軟に考え続けられる人でありたいと考えています。大学生を送る中で培った挑戦を楽しむ力を活かしたいと思っています。

私は友人に声をかけてもらい、大学3年生の4月に3人で出張駄菓子屋プロジェクト「駄菓子屋くする」を立ち上げました。プロジェクト名の「くする」は、物事を中心を意味する「枢」に由来し、駄菓子を通して人と人、地域と人、そして駄菓子と未来をつなぎたいという思いを込めました。約2年間の活動期間で大分県内外33か所ですべて、地域のお祭りや企業のイベント、スポーツイベント等に

活動を通して印象的だったことは駄菓子を手に取り笑顔です。帰って行く来場者の姿です。このことから、駄菓子屋という小さなブースであっても、世代を超えた会話や新たな交流が生まれ、地域の賑わいづくりに寄与できていることを実感しました。また、様々なイベントや主催者の方々との関わりを通じて、大分県の魅力を再発見する貴重な経験にもなりました。

卒業論文では、「地域情報発信のあり方を探る」出張駄菓子屋プロジェクト「駄菓子屋くする」から考える地域イベント・地方テレビ局・SNSの連携」をテーマとし、自身の経験と今後の進路を結びつけて研究しました。

後輩へ一言 後輩の皆さんには、人との出会いを大切にしてください。私自身、友人や教授との出会いがきっかけとなり、想像もなかった貴重な経験を得ることができました。一つ一つの出会いが、大学生活を大きく広げてくれるはず

胸ワクワク 1,184名が入学



経済学部には299名が入学しました

令和8年4月4日(土)「iichiko グランシアタ」で令和8年度大分大学入学式が開催された。今年はいち、184名の学部生(内経済学部287名)、264名の大学院生(内経済学部12名)が新たに大分大学の一員となった。

北野正剛学長は新入生に対し、「大学では失敗や挫折を恐れず、単なる知識を蓄えるのではなく、問い続ける力を身に付け、他者と対話し、多様な価値観に触れ、時には自らの考えを修正しながら、より高い次元へ成長してほしい」と告辞を述べた。

学部長紹介の後閉会となり、続いて4階「iichiko音の泉ホール」で経済学部入学歓迎会が行われ

た。

石井まこと経済学部長挨拶の後、三浦洋一四極会会長が挨拶に立ち、まず四極会の歴史と組織について、続いて四極会の活動について詳細に説明を行い、最後に「新入生の皆さんは入学と同時に四極会の会員である。四極会のHPや会報等を見て四極会の活動に関心を持ってほしい。また、保護者の皆さんには、四極会の本部や支部から子供さん宛に活動情報等が届いた場合はその内容を是非子供さんに伝えてほしい」と熱く語った。

楠思学会委員長の挨拶の後、新入生への連絡事項が伝えられ、新入生歓迎会は閉会となった。

(大島英明 大24・記)

RECRUIT

豊後企画リクルート Instagram



大分で地域に貢献！ 楽しくはたらく！

Uターン
就職

キャリア
積極採用

総合
不動産
会社

創業
48年

しにせ
ベンチャー
企業

不動産の総合コーディネーター
BUNGO (株)豊後企画集団

経営企画室HRグループ 〒870-0007 大分市王子南町5番6号

TEL **080-1794-0046** [採用通知]

豊後企画リクルート

渡邊副学長や
ゼミ生ら出席

北九州三経講演会

令和7年10月10日(金)、北九州国際会議場で第6回北九州三経会「講演会」が開催されました。

今回は長崎大学経済学部「井田洋子」学部長を講師にお迎えしました。同氏は法学を専門と



笑顔の渡邊ゼミ4年生11名



久保支部長ら同窓の皆さん

する研究者であり、主に憲法や人権に関する教育研究を行っています。演題は「日仏比較」20年以上にわたるフランス人との交流を通じて考えたこと」で、内容はご自身のフランス留学時代に遡り、現在も交流を続けるフランス人と日本人の「生き方」「人生感」「幸福感」等の違いを「ご自身の経験に基づき講演して頂きました」。

講演会には総勢57名が参加し、うち同校参加者は28名(久保北九州四極会支部長以下同窓生11名に加え、渡邊理事・副学長、高見経済学部長、大島四極会事務局長、丸山長崎支部長、待井福岡支部長、経済学部社会イノベーション学科渡邊ゼミ4年生11名、及び大学院の張氏)でした。

終了後の懇親会でも他大学と同窓生、現役生が大いに交流を深めることが出来ました。



渡邊副学長や高見学部長も！

参加者(敬称略)

- 渡邊博子理事・副学長(大36)、高見博之経済学部長、大島英明(四極会事務局長、大24)、丸山一郎(長崎支部長、大25)、待井弘道(福岡支部長、大27)、板橋紘平(大15)、久保恵一(大21)、吉永真一(大21)、秋田嘉憲(大22)、浜口広幸(大24)、樋上弥寿子(大28)、

宗像でOB戦

三経戦テニス

第2回三経テニスOB戦を2025年11月8日(土)宗像ユリックステニスコートで開催しました。長崎大瓊林会(7名、山口大(鳳陽会)6名、大分大(四極会)6名参加)レダブルス3チームで対戦、結果各大学とも1勝1敗でした。ゲーム得失では大分がトップでしたが、大会は親善が目的ということで引



テニスで健康そのものです

き分け、皆優勝としました。好天に恵まれ好ゲームも多く応援席から「おー」「ナイスプレイ」など歓声もあり大いに盛り上がりました。中でも大分の首藤、三浦組(工学部、TOTO)は昨年から負け知らずでエースとして大活躍でした。

来年(2026年)は11月7日(土)宗像ユリックステニスコートで開催します。尚この会は硬庭部出身者限定ではありませんので、どなたでも参加してください。参加希望の方は浜口(大24) TEL090-8299-12786まで連絡ください。

参加者(敬称略)
浜口広幸(大24)、齋藤謙(大36)、徳永剛弘、首藤浩文、三浦彰司、山中一暁(工学部)
(浜口広幸 大24・記)

北九州囲碁三経戦開く

第21回北九州囲碁三経戦(年2回)が令和7年12月10日(水)に日本棋院北九州支部北九州囲碁センターで開催されました。これは長崎大学の藤井さんのおかげで、碁を打たないのにずっと世話をしてくれています。本当にありがたいことです。

今回の参加者は長崎3名、山口4名、大分3名(大11の宮崎博二段、大22の秋田嘉憲五段、大24の浜口広幸四段)の10名でした。

結局この日は4人が3勝1敗で優勝、賞金を分け合いました。終局後の打ち上げは長年の付き合いで大学も年齢も飛び越え実に楽しく愉快な宴となりました。いつまでもこの関係が続いて欲しいと願っています。

参加者を募集しています。毎年5月、11月頃開催です。浜口(090-8299-12786)まで連絡ください。



年2回、5月と11月に開催

現役バリバリが集結

大分支部の職域交流会

令和7年度「職域交流会」を令和7年9月26日(金)に大分センチュリーホテル「桐の間」にて開催しました。

本会は現役バリバリのサラリーマン会員が集まって親睦を深めます。

同じ大分市内で勤務しているも職場の違う同窓生との交流の機会は少なく、開催を楽しみにしている会員も多数です。

本年度は15の組織から41名が参加しました。

又、今年度より梅豊社様が正式に新規職域として参加されました。

参加組織(簡略表記)

- ・職域支部…大分銀行、大分合同新聞社、大分県庁、大分市



衛藤秀樹さんが「カンパイ！」

役所、大分大学、ジェイリース、豊和銀行

・職域企業…大分支部、オーイーシー、大分県信用組合、大分信用金庫、テレビ大分、トヨタカローラ大分、梅豊社、豊後企画集団

交流会は阿部通正事務局次長(大26)によって進められた。

初めに高野支部長(大34)による挨拶に続いて三浦洋一四極会会長(大24)からご祝辞を頂いた。

ジェイリース職域支部長衛藤秀樹さん(大28)が乾杯の音頭を執り行った。

懇親会は、世代の近い人が同席になるように配された6つのテーブルに分かれて進められた。同じテーブルには同一職場の会員はいないように配席し、若い会員ほど初対面の人が多く、方々で名刺交換する姿も見られた。時間の経過と共に寛いだ雰囲気になり、談笑の輪が広がった。

終盤になり、各組織のPRタイムでは、それぞれ代表が壇上に立って自己紹介や業務の案内、職場四極会の活動状況、四極会員としての抱負など自由にスピーチした。2分の制限時間を



約70名が参加

学生と先輩が和やかに交流

令和7年11月7日(金)18時30分より、大分大学且野原キャンパス学生食堂「B・Forêt」で、第11回「学生と先輩との交流会」を開催しました。当日は学生30名弱・先輩は17の企業・団体から38名が参加して熱心に意見交換が行われました。

特筆すべき点は、

- 1 昨年から他学部への参加をOKとしましたので、理工学部



イキイキと質問する学生

超過してしゃべる人、どんぴしゃり120秒におさめる人、新社会人、ベテラン社員と多種多様なスピーチに会場が沸いた。

昨年度と同様、現役学生との接点を密にするということ写真真班として招待した写真部の西條隼さん(2年)にも夏休みのインターンシップや希望業種等について一言頂きました。

締めは、株式会社テレビ大分代表取締役社長の池邊強さん(大29)により挨拶の「チワウス」を捻った「シワウス(四極)」三本締めで締めくくりました。

(阿部通正 大26・記)

生の2名を含めて飛び入りで5名が参加

- 2 QRコード経由の申し込み方法が定着化
- 3 低学年(1・2年生)の占める割合が約2割5分と、低学年から就職に関心を持つてもらうという意図が実現できた。

初めに、高野浩子大分支部長(大34)、三浦洋一四極会会長(大24)、高見博之経済学部長からご挨拶をいただきました。

前半は13に分かれたテーブルの片側に2〜3人の先輩が着席し、対面に学生が同数並びます。学生と先輩が対面じゃなくクロスして問答する形で交流し、15分経つと学生は隣のテーブルに移動するということを3回繰り返します。後半の各々2回は学生が自由にテーブルを選んで並びます。

学生は自由に生き生きと質問し、先輩も熱心に答えていました。熱気に満ちて、かつ和やかな雰囲気の下、学生と先輩の交流が繰り広げられました。アンケート結果では学生・企業/団体両方とも全く好意的な意見でした。

来年はもっと学生目線に重点



さすが山男、記念写真もバッチリ

を置いて、学生さんに企画に最初から参加してもらい集客向上を目指します。

(阿部通正 大26・記)

紅葉狩り満喫 四極山のぼろ会

4回目となる四極山のぼろ会が令和7年11月29日(土)に行われました。好天のもと、わずか6人でしたが和気あいあい楽しく行われました。

紅葉は見ごろで日光をあびながらの見事な紅葉狩りが出来ました。

メンバーは6人でしたが好天のせいでしょうか、多くの登山者が訪れており、行きかうたびにあいさつをかわし、気分のいい登山が出来ました。

今回は令和8年4月第1金曜日(4月3日)に予定を入れました。

桜の満開を楽しみにしておきましょう。

(加藤英彦 大14・記)

快適な暮らしの すぐそばに いつでも、どこでも

私たちは、現在、旅客運送事業と不動産関連事業を柱に、自動車関連事業やインドを始めとする国際事業など、幅広いフィールドで事業を展開しています。それらに通底するのは、人と時代を見つめ「いま地域社会に求められているものは何か」を見極め、事業というカタチに具現化する視点です。



第一交通産業
公式キャラクター
「タクマ」



那覇バスターミナル



那覇市カフーナ旭橋C街区



タクシー事業



沖縄地区(バス事業)



ハイヤー事業



ウオマチヒカリテラス



沖縄第一モータース



インドでの国際事業



海上アクセス整備事業



乗合タクシー



グランドパレス黒崎マークスタワー



戸建住宅(第一ホーム)

タクシーを中心に広がる、さまざまな事業

タクシー事業 / バス事業 / マンション分譲事業 / 戸建分譲事業 / 不動産賃貸事業 / 不動産再生事業
不動産金融事業 / 自動車整備事業 / パーキング事業 / 国際事業 / 海上アクセス整備事業 / ITソリューション事業 etc.